

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料	検査方法	基準値	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
5370	骨塩定量検査 92512-1952-991-920-49	第二中手骨 X線フィルム	専用袋		2~3	140 <sup>①</sup> 生体検査料	CXD法	下記参照	専用依頼書に性別・生年月日を明記してください。	骨粗鬆症

その他

① 骨粗鬆症の診断及びその経過観察の際にのみ算定。ただし4月に1回を限度とする。

注:提出フィルムについては事前に照射量・照射時間などの設定を必要としますので初回依頼までにご連絡下さい。

## 骨塩定量検査 第二中手骨 骨密度基準値 (CXD)

年齢	女性	
	n	m-BMD(mmAl)
20~24	236	2.692±0.274
25~29	83	2.724±0.221
30~34	228	2.764±0.226
35~39	454	2.762±0.220
40~44	1,139	2.739±0.228
45~49	1,808	2.734±0.230
50~54	2,290	2.605±0.264
55~59	2,533	2.385±0.273
60~64	2,676	2.264±0.260
65~69	1,971	2.172±0.265
70~74	980	2.074±0.281
75~79	445	1.949±0.288
80~84	373	1.780±0.283
85~89	197	1.676±0.270
90~94	80	1.575±0.245
95~	19	1.543±0.239
	15,512	

年齢	男性	
	n	m-BMD(mmAl)
20~24	40	2.720±0.443
25~29	54	2.749±0.238
30~34	72	2.826±0.191
35~39	221	2.799±0.258
40~44	262	2.757±0.248
45~49	294	2.721±0.262
50~54	302	2.698±0.274
55~59	301	2.683±0.253
60~64	341	2.670±0.287
65~69	301	2.600±0.319
70~74	300	2.590±0.312
75~79	189	2.549±0.328
80~84	171	2.443±0.343
85~89	82	2.348±0.357
90~94	27	2.224±0.420
95~	5	2.258±0.138
	2,962	

〔注〕m-BMDは平均±SD  
m-BMD:Metacarpal-Bone Mineral Density の略

〔日本骨代謝学会 骨粗鬆症診断基準 1996年度改訂版〕

### 骨塩定量検査報告書

〒143 45 45360 受付№ 4593  
施設名 微研 医院 院  
氏名 ビケン ハナコ 殿  
年齢・性別 84 才 女  
受付№ 14398 受付日 02年 8月 22日  
撮影日 02年 8月 22日 報告日 02年 8月 23日

検査項目	測定値
骨塩定量 (CXD法)	
m-BMD	1.76 mmAl
YAM %	64.2 %
同年齢 %	100.6 %
MCI (骨皮質幅指数)	0.371
GSmax (骨皮質)	2.58 mmAl
GSmin	1.33 mmAl
d (骨髄質幅)	5.08 mm
D (骨髄)	8.08 mm
L (第2中手骨長)	61.77 mm

次回検査日は 02年 12月頃です

	①	②	③	④	⑤
受付 №	4593	1256			
撮影年月日	02年4月	02年8月			
m-BMD	1.76	1.70			

コメント

BIKEN 社団法人 京都微生物研究所  
本部 TEL 075-693-1441 検査責任者  
増田 実所 TEL 0773-23-7311 宮本

### 骨塩定量検査 (CXD法) 結果のお知らせ

氏名 ビケン ハナコ 殿  
医療機関名 微研 医院 院  
撮影日 02年 8月 22日  
検査日 02年 8月 23日

◆m-BMD: 1.76 mmAl 今回の検査の結果、あなたの骨量は骨粗鬆症領域に入っています。医師の指示に従ってください。  
◆YAM%: 64.2 %  
◆同年齢%: 100.6 %

あなたの骨量は、骨量値の高い時 (20~44歳) と比較して、64.2 %に相当します。また、同年代の人と比較して、100.6 %に相当します。

骨粗鬆症の進行を予防し、症状を改善するためには、食生活のバランスと適度な運動と日光浴が大切です。

#### 食事療法

- カルシウム、食肉の蛋白質、ビタミンDを多く含む食事をとるように心がけましょう。
- カルシウムは毎日一定量が尿中に排泄されますから、必要量をとらないと骨中のカルシウムは自然に減ってしまいます。
- ビタミンDはカルシウムが骨から吸収されるのを促進する働きがあり、欠乏に多く含まれています。

#### 運動療法

- カルシウムが骨に入っていくには、骨に負荷 (力) をかけることが大切です。毎日無理のない範囲で骨を動かしましょう。1日30分から1時間ほど歩くようにしましょう。

#### 日光浴

- 食べ物として口からとられたビタミンDは、紫外線によって皮下脂肪でつくられたビタミンDとともに、活性型ビタミンDというホルモンになり腸管でカルシウムの吸収を助ける役割をしています。
- 紫外線には、出来るだけ太陽の光を浴びましょう。

次回検査日は 02年 12月頃です

その他

# 白血球の分化抗原の CD 分類

CD	分布、機能
CD1	胸腺細胞、Langerhans 細胞
CD2	T 細胞、NK 細胞の一部、E ロゼット R、LFA-2
CD3	T 細胞、シグナル伝達に関与
CD4	helper/inducer T、単球
CD5	T 細胞、一部の B 細胞
CD6	T 細胞の一部、B 細胞の一部、細胞接着に関与
CD7	T 細胞、NK 細胞、白血病の一部
CD8	suppressor/cytotoxic T、NK 細胞
CD9	単球、血小板、pre B、顆粒球、内皮細胞
CD10	リンパ球系前駆細胞、悪性 B 細胞、neutral endopeptidase、CALLA
CD11a	顆粒球、リンパ球、マクロファージ、LFA-1 α鎖、CD54 (ICAM-1) と結合
11b	マクロファージ、顆粒球、NK 細胞、CR3. Mac-1 α鎖
11c	マクロファージ、顆粒球、CR4
CD13	単球、顆粒球、aminopeptidase N
CD14	単球、マクロファージ、顆粒球、リポ多糖体のレセプター
CD15	顆粒球、単球、セレクチンと結合
CD16a	単球、マクロファージ、NK 細胞、Ec γ R III
CDw17	顆粒球、単球、血小板、活性化 T 細胞
CD18	白血球全般、LFA-1 β鎖
CD19	B 細胞
CD20	B 細胞
CD21	成熟 B 細胞、樹状細胞、C3d/EBV R
CD22	成熟 B 細胞
CD23	B 細胞、単球、T 細胞、血小板、Fc ε R II
CD24	B 細胞全般、顆粒球、活性化 T 細胞
CD25	活性化 T/B 細胞、活性化単球、IL-2R α鎖
CD26	活性化 T/B 細胞、単球、T 細胞活性化に関与、ADA と結合
CD27	成熟 T 細胞、活性化 T 細胞
CD28	T 細胞の一部、活性化 B 細胞、胸腺細胞
CD29	VLA β鎖
CD30	活性化 T/B 細胞、RS 細胞、Ki-1 抗原
CD31	単球、顆粒球、血小板、内皮細胞、PECAM- I
CD32	単球、マクロファージ、好中球、Fc γ R II
CD33	造血細胞特異的
CD34	造血幹細胞
CD35	顆粒球、単球、赤血球、B 細胞、CR1
CD36	血小板、単球、マクロファージ、赤血球
CD37	B 細胞全般、悪性 B 細胞
CD38	活性化 T 細胞、形質細胞、プレ B 細胞、胸腺細胞、単球
CD39	成熟 / 活性化 B 細胞、悪性 B 細胞
CD40	B 細胞全般、単球、樹状細胞
CD41	血小板、巨核球、GP II b/ III a
CD42a	血小板、巨核球、GP IX
42b	血小板、巨核球、GP I b a
42c	血小板、巨核球、GP I b β
42d	血小板、巨核球、GPV
CD43	白血球全般、CD54L
CD44	白血球全般、赤血球、血小板、ヒアルロン酸受容体
CD45	白血球全般
CD45RA	末梢 T 細胞の一部 (naiveT)、B 細胞、単球
45RB	B 細胞、T 細胞の一部、単球
45RO	memory T、単球
CD46	白血球全般、胸腺細胞、血小板、上皮細胞
CD47	造血系細胞全般、その他の広範な細胞
CD48	白血球全般
CD49a ~ f	活性化 T 細胞、B 細胞、NK 細胞、単球、血小板 VLA- α鎖
CD50	白血球全般、胸腺細胞、ICAM-3
CD51	血小板、巨核球、ビトロネクチン受容体の α鎖
CD53	白血球全般
CD54	白血球、活性化内皮細胞、ICAM-1、LFA-1R
CD55	ほとんどすべての細胞、補体制御蛋白 DAF
CD56	NK 細胞、一部の T 細胞、脳、N-CAM
CD57	NK 細胞の一部、T/B 細胞の一部
CD58	ほとんどすべての細胞、LFA-3
CD59	ほとんどすべての細胞
CD61	血小板、巨核球、単球、内皮細胞、GP III a、vitronectinR β鎖
CD62P	血小板、血管内皮細胞、P-selectin
62E	血管内皮細胞、E-selectin
62L	白血球全般、L-selectin
CD63	活性化血小板、単球、マクロファージ
CD64	単球、好中球、Fc γ R I
CD65	顆粒球、単球の一部
CD69	活性化 T/B 細胞、NK 細胞、活性化マクロファージ
CD70	活性化 T/B 細胞
CD71	transferrinR、増殖中の細胞

CD	分布、機能
CD72	B 細胞全般
CD73	B/T 細胞の一部、胸腺細胞、ecto-5'-nucleotidase
CD74	B 細胞、単球、マクロファージ、樹状細胞
CD79a	B 細胞全般
79b	B 細胞全般
CD80	活性化 B/T 細胞、マクロファージ、CD28L
CD81	広範な細胞
CD86	活性化 B 細胞、単球
CD87	広範な細胞、uPA の受容体
CD88	顆粒球、単球、マクロファージ、血小板、C5aR
CD89	単球、好中球、T/B 細胞の一部、FC α R
CD91	肝細胞、組織マクロファージ、単球
CD94	NK 細胞、T 細胞の一部
CD95	広範な細胞、Fas
CD98	広範な細胞
CD102	リンパ球、単球、血管内皮細胞、ICAM-2
CD104	上皮細胞、神経細胞、integrin β 4 鎖
CD105	上皮細胞、単球、TGF β 1 と β 3 の高親和性受容体複合体の一部
CD106	活性化血管内皮細胞、VCAM-1、VLA-4 の受容体
CD114	顆粒球、単球、血小板、G-CSF R
CD115	単球系細胞、M-CSF R
CD116	GM-CSF R α鎖
CD117	造血幹細胞、造血前駆細胞、SCF R (c-kit)
CDw119	IFN- γ R
CD120a	TNF R type1
120b	TNF R type2
CD121a	IL-1 R type1
CDw121b	IL-1 R type2
CD122	IL-2 R β鎖
CDw123	IL-3 R α鎖
CD124	IL-4 R
CDw125	IL-5 R α鎖
CD126	IL-6 R
CD127	IL-7 R α鎖
CDw128	IL-8 R
CD130	ほとんどすべての細胞、gp130
CDw131	common β chain
CD132	common γ chain
CD134	活性化 T 細胞、OX40 L レセプター
CD135	造血幹細胞、Flt3/Flk2 R
CD140a	血小板、線維芽細胞、平滑筋細胞、PDGF R α鎖
140b	血小板、線維芽細胞、平滑筋細胞、PDGF R β鎖
CD141	thrombomodulin
CD142	活性化単球、内皮細胞、tissue factor
CD143	内皮細胞、上皮細胞、ACE
CD144	VE-cadherin
CD147	造血細胞全般、上皮細胞
CD152	活性化 T/B 細胞、CTLA-4
CD153	CD30L
CD154	CD40L
CD155	単球、CD34 + 胸腺細胞、ポリオウイルス R
CD158a	HLA-C 抗原のレセプター
158b	HLA-C 抗原のレセプター
CD161	成熟末梢血 NK 細胞、CD4-CD8+T 細胞サブセット
CD164	上皮細胞、単球
CD165	T/B/NK 細胞、未熟胸腺細胞、単球、血小板の大部分、胸腺細胞と胸腺上皮細胞の接着
CD166	活性化 T/B、活性化単球、胸腺上皮細胞、CD6 L
CD172a	チロシンホスファターゼ
CD178	Fas ligand、CD95 L
CD183	ケモカイン R3
CD184	ケモカイン R4
CD195	ケモカイン R5
CDw197	ケモカイン R7
CD209	HIVgp120 結合蛋白
CDw210	IL-10 R α、β
CD212	IL-12 R β 1
CD213a1	IL-13 R α 1
213a2	IL-13 R α 2
CD220	インスリン R
CD221	insulin like growth factor 1R
CD235a	glycophorinA
235b	glycophorinB
CD236	glycophorinC/D
CD242	赤血球、ICAM-4
CD243	幹細胞、MDR-1
CD247	CD3 ξ鎖

スタンダード検査血液学 (医歯薬出版株式会社) より引用

■遺伝子型とそれに対応するHLA型

Table mapping genetic types to HLA types. Columns include genetic type, HLA type, and corresponding HLA type. Includes sub-sections for HLA-A, HLA-C, HLA-DRB1, and HLA-DQB1.

参考文献

Marsh S.G.E. et al. Nomenclature for variants of the HLA system, 2004. Tissue Antigens 65 : 301-369, 2005. Schreuder GM et al. The HLA Dictionary 2004 : a summary of HLA-A,-B,-C,-DRB1/3/4/5 and -DQB1 alleles and their association with serologically defined HLA-A,-B,-C,-DR and -DQ antigens. Tissue Antigens 65 : 1-55, 2005.

# 検体の安定性

検査項目	保存期間		
<b>■生化学的検査</b>			
総ビリルビン (T-Bil)	室温 2日	冷蔵 1週間	凍結 1ヶ月 (遮光)
直接ビリルビン (D-Bil)	室温 2日	冷蔵 1週間	凍結 1ヶ月 (遮光)
総蛋白 (TP)	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
アルブミン (Alb)	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
蛋白分画	室温 2日	冷蔵 1週間	凍結 > 1ヶ月
TTT (チモール混濁試験)	室温 1~2日	冷蔵 3~5日	凍結 1週間
ZTT (硫酸亜鉛混濁試験)	室温 1日	冷蔵 2日	凍結 1週間
AST (GOT)	室温 3日	冷蔵 1週間	凍結 > 1ヶ月
ALT (GPT)	室温 1日	冷蔵 3日	凍結 > 1ヶ月
ALP	室温 < 1日	冷蔵 1週間	凍結 6ヶ月
LD	室温 5日	冷蔵 5日	凍結不安定
LAP	室温 3日	冷蔵 1週間	凍結 3ヶ月
γ-GT	室温 1週間	冷蔵 1週間	凍結 3ヶ月
コリンエステラーゼ	室温 1週間	冷蔵 1週間	凍結 6ヶ月
アミラーゼ	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
リパーゼ	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 6ヶ月
トリプシン			凍結 6ヶ月
エラスターゼ 1			凍結 3ヶ月
CK (CPK)	室温 2日	冷蔵 1週間	凍結 1ヶ月
アルドラーゼ	室温 1日	冷蔵 1ヶ月	凍結 > 3ヶ月
リゾチーム	室温 1~4日	冷蔵 1週間	
L-CAT		冷蔵 1週間	凍結 3ヶ月
グアナーゼ	室温 3日	冷蔵 2週間	凍結 10ヶ月
総コレステロール	室温 1週間	冷蔵 1週間	凍結 1年
トリグリセリド	室温 1日	冷蔵 4日	凍結 > 1ヶ月
リン脂質 (PL)	室温不安定	冷蔵 1週間	凍結 > 1ヶ月
HDL コレステロール	室温 1週間	冷蔵 2週間	凍結 3ヶ月
リポ蛋白分画		冷蔵 1週間	
総胆汁酸	室温 1週間	冷蔵 6ヶ月	凍結 1年
ナトリウム (Na)	室温 1~2週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
クロール (Cl)	室温 1~2週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
カリウム (K)	室温 1~2週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
カルシウム (Ca)	室温 1週間	冷蔵 2週間	凍結 1年
無機リン (P)	室温 3日	冷蔵 1週間	凍結 > 1ヶ月
マグネシウム (Mg)	室温 1週間	冷蔵 2週間	凍結 1年
尿素窒素 (BUN)	室温 3日	冷蔵 1週間	凍結 6ヶ月
クレアチニン	室温 3日	冷蔵 1週間	凍結 6ヶ月
尿酸 (UA)	室温 3日	冷蔵 1週間	凍結 6ヶ月
クレアチン		冷蔵 1週間	凍結 6ヶ月
アンモニア	室温 2時間	冷蔵 5時間	凍結 1週間
グルコース (血糖)	室温 8時間	冷蔵 1週間	凍結 > 1年
乳酸			凍結 1ヶ月
ビルビン酸			凍結 1ヶ月
ビタミン A			凍結 1週間
ビタミン B <sub>1</sub>			凍結 10日
ビタミン B <sub>2</sub>			凍結 1週間
ビタミン B <sub>6</sub>			凍結 1週間
ビタミン B <sub>12</sub>	室温 4日		凍結 3ヶ月
ビタミン C (アスコルビン酸)		冷蔵 6時間	凍結 2週間
ビタミン E		冷蔵 2週間	
葉酸			凍結 4週間
鉄 (Fe)	室温 1週間	冷蔵 2週間	凍結 6ヶ月
TIBC	室温 1週間	冷蔵 2週間	凍結 6ヶ月
UIBC	室温 1週間	冷蔵 2週間	凍結 6ヶ月
銅 (Cu)	室温 1週間	冷蔵 2週間	凍結 6ヶ月
亜鉛 (Zn)	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
<b>■内分泌学的検査</b>			
成長ホルモン	室温 1日	冷蔵 1日	凍結 > 6ヶ月
黄体形成ホルモン	室温 1日	冷蔵 1日	凍結 > 6ヶ月
卵胞刺激ホルモン	室温 1日	冷蔵 1日	凍結 > 6ヶ月
TSH	室温 1日	冷蔵 1日	凍結 > 6ヶ月
ACTH			凍結 6ヶ月
プロラクチン			凍結 3ヶ月
アルギニンバソプレッシン			凍結 4ヶ月
T <sub>3</sub> (トリヨード サイロニン)	室温数日	冷蔵 2週	凍結 > 6ヶ月
T <sub>4</sub> (サイロキシニン)	室温数日	冷蔵 2週	凍結 > 6ヶ月
TBG			凍結 3ヶ月
サイロglobulin			凍結 3ヶ月
抗マイクソーム抗体			凍結 3ヶ月
抗サイロglobulin抗体			凍結 3ヶ月
カルシトニン			凍結 3週間
PTH	室温不安定	冷蔵不安定	凍結 3ヶ月
11-OHCS			凍結 1ヶ月
コルチゾール	室温 1日	冷蔵 10日	凍結 > 6ヶ月
アンドロステロン	室温 1日	冷蔵 2日	凍結 > 1年
VMA			凍結 6ヶ月
HVA			凍結 3ヶ月
カテコールアミン	室温 2時間	冷蔵 1~2日	凍結 1ヶ月
5-HIAA			凍結 3ヶ月
インスリン	室温 1日	冷蔵数日	凍結 > 6ヶ月
C-ペプチド			凍結 3ヶ月

検査項目	保存期間		
ガストリン			凍結 2週間
エストロゲン		冷蔵 2週間	凍結 3ヶ月
E <sub>3</sub>		冷蔵 2週間	凍結 3ヶ月
プロゲステロン			凍結 1ヶ月
HPL	室温 < 1日	冷蔵 2日	凍結 1週間
テストステロン			凍結 2~4ヶ月
レニン定量	室温 3時間	冷蔵 3日	凍結 2ヶ月
アンジオテンシン I・II	室温不安定	冷蔵不安定	凍結半月
<b>■免疫血清学的検査</b>			
血清補体価 (CH <sub>50</sub> )			凍結 1週間 (-20℃) 6ヶ月 (-70℃)
C <sub>3</sub>			凍結 1ヶ月
C <sub>4</sub>			凍結 1ヶ月
IgG	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
IgA	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
IgM	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
IgD	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
IgE (非特異的 IgE)			凍結 6ヶ月
特異的 IgE			凍結 14日
α <sub>1</sub> -アンチトリプシン	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
ハプトglobulin	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
セルロプラスミン	室温不安定	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
トランスフェリン (Tf)	室温 1週間	冷蔵 2週間	凍結 6ヶ月
フェリチン		冷蔵 2日	凍結 4ヶ月
α <sub>1</sub> -マイクログロブリン		冷蔵 2週間	凍結 6ヶ月
β <sub>2</sub> -マイクログロブリン		冷蔵 3週間	凍結 > 3週間
免疫電気泳動			凍結 1年 (-80℃)
リウマトイド因子	室温 2日	冷蔵 1週間	凍結 > 4ヶ月
CRP	室温 2日	冷蔵 1週間	凍結 4ヶ月
ASO 価	室温 2日	冷蔵 1週間	凍結 > 4ヶ月
ASK 価			凍結 6ヶ月
トキシプラズマ抗体価			凍結 6ヶ月
梅毒 RPR 法			凍結 6ヶ月
梅毒 TPHA 法			凍結 6ヶ月
梅毒 FTA-ABS 法			凍結 6ヶ月
ウイルス抗体価 (HI)		冷蔵 1週間	
ウイルス抗体価 (CF)		冷蔵 1週間	
HTLV-1 抗体価 (ATLA)			凍結 6ヶ月
HA 抗体価			凍結 6ヶ月
HBs 抗原			凍結 6ヶ月
HBs 抗体価			凍結 6ヶ月
HBc 抗体価			凍結 6ヶ月
HBe 抗原			凍結 6ヶ月
HBe 抗体価			凍結 6ヶ月
<b>■腫瘍関連検査</b>			
CEA	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
α-フェト蛋白		冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
神経特異エンラーゼ			凍結 2年
CA125		冷蔵 2週間	
CA19-9		冷蔵 1週間	凍結 6ヶ月
<b>■血液学的検査</b>			
プロトロンビン値			凍結 3日
APTT			凍結 3日
フィブリノゲン	室温 1週間	冷蔵 1ヶ月	凍結 1年
トロンボテスト			凍結 3日
ヘパラスチンテスト			凍結 3日
プラスミンogen蛋白量			凍結 3ヶ月
プラスミンogen活性			凍結 3ヶ月
アンチトロンビン III 活性			凍結 1ヶ月
PIVKA II (出血・凝固)			凍結 3ヶ月
凝固因子			凍結 3ヶ月
β-トロンボglobulin			凍結 1年

引用文献：検査値を変えるもの—影響因子の一覧と対策— (株) 薬事日報社

◆影響の大きさは溶血の程度や用いる測定法により異なるが、おおむね血球／血漿内濃度比により次のように分けた。  
ただし血球内成分の各測定原理に与える影響は省略した。

検査項目	溶血	乳び
AST (GOT)	↑↑	
ALT (GPT)	↑	
LD (乳酸脱水素酵素)	↑↑↑	
ALP (アルカリホスファターゼ)		↑↑
ACP (酸性ホスファターゼ)	↑↑	
前立腺性ACP	↑	
ChE (コリンエステラーゼ)	↑	
CK (CPK)	↑↑	
ALD (アルドラーゼ)	↑↑↑	
アミラーゼ (AMY)	(↓)	
リパーゼ	↓	
TTT		↑↑
ZTT		↑
TP (総蛋白)	↑	↑
Alb (アルブミン)	(-)	
HbA1c (グリコヘモグロビン)	—	
NH <sub>3</sub> (アンモニア)	↑	
BUN (尿素窒素)	↑	
クレアチニン	↑	
尿酸 (UA)	(-)	
T-Bil (総ビリルビン)	(↓)	↑
葉酸	↑↑	
総コレステロール	(-)	—
中性脂肪 (TG)	(-)	↑↑
HDL-C	(-)	
PL (リン脂質)	(↑)	やや上昇
遊離脂肪酸 (FFA、NEFA)	(↑)	
ナトリウム (Na)	(↓)	
カリウム (K)	↑↑↑	
クロール (Cl)		
カルシウム (Ca)	(↓)	
無機リン (IP)	↑↑	
マグネシウム (Mg)		
鉄 (Fe)	↑↑	
グルコース (血糖)	(↓)	
亜鉛 (Zn)	↑	
NSE (神経特異エノラーゼ)	↑↑	
ACTH (副腎皮質ホルモン)	↓	
インスリン	↓	
赤血球数 (RBC)	(↓)	
白血球数 (WBC)		
ヘマトクリット (Ht)	↓	

※引用文献:検査値を変えるもの —影響因子の一覧と対策— (株)薬事日報社

↑↑↑:血球／血漿比が約100倍以上  
 ↑↑ :血球／血漿比が約50倍以上  
 ↑ :血球／血漿比が約10倍以上  
 ↓ :血球／血漿比が約0.1倍以下  
 ↓↓ :血球／血漿比が約0.05倍以下  
 ↓↓↓:血球／血漿比が約0.01倍以下  
 ( ):定見はないが、( )内の報告のあるもの  
 — :影響なし

主な内分泌負荷試験

負荷試験名	実施方法例	検査項目	結果の解釈
<b>TRH 試験</b>	<p>TRH (田辺製薬) 500 <math>\mu</math>g を筋注または静注</p> <p>採血スケジュール 前・15分・30分・60分・90分・120分</p>	TSH など	正常人では、30～60分で10～40 $\mu$ U/mLの最高値を示すが、下垂体性甲状腺機能低下症では増加せず、視床下部性甲状腺機能低下症では増加する。未治療のバセドウ病でも変化がみられない。
<b>LH-RH 試験</b>	<p>LH-RH (第一製薬・田辺製薬) 100 <math>\mu</math>g を筋注または静注</p> <p>採血スケジュール 前・15分・30分・60分・120分・180分</p>	LH FSH など	LHは、15～30分で最高値を示し、成人男子で50～100mIU/mL、女子で30～100mIU/mLを示す。排卵前期に行えば数百mIU/mLに上昇する。性腺機能低下で、正常反応が認められれば視床下部障害、低反応では下垂体機能低下症が疑われる。原発性性腺機能不全の場合は過剰反応を示す。
<b>Rapid ACTH テスト</b>	<p>合成 ACTH (第一製薬) を 0.25～0.5mg 静注</p> <p>採血スケジュール 前・30分・60分</p>	コルチゾール または 11-OHCS など	正常者は、負荷後30分値または60分値が前値の2～4倍に増量する。(前値が正常であることを確認) クッシング症候群のうち、腺腫では無反応または増加のいずれも認められ、過形成では反応陽性であり、アジソン病や皮質ステロイド投与による医原性機能低下症では増加反応を示さない。
<b>デキサメサゾン試験 (標準法)</b>	<p>デキサメサゾン 6時間毎内服 3、4日目：0.5mg ずつ (1日量 2mg) 5、6日目：2mg ずつ (1日量 8mg)</p> <p>蓄尿スケジュール 1日目・2日目 (対照) 3日目・～・6日目 (試験)</p>	尿 17-OHCS など	正常者は、2mg 投与 2日目に尿中 17-OHCS が投与前値の 1/4 以下となる。クッシング病では 1日 2mg 投与で抑制されず、8mg 投与で前値の 50% 以下に低下する。副腎腫瘍および異所性 ACTH 産生腫瘍によるクッシング症候群では 8mg 投与でも減少しない。
<b>メトピロン試験</b>	<p>メチラポン (Ciba) 0.75g を 6時間ごとに 4回内服 (1日 3g)</p> <p>蓄尿スケジュール 1日目・2日目 (対照) 3日目・4日目・5日目 (試験)</p>	尿 17-OHCS など	正常では、3日目に前値の 2～4 倍に増量する。投与翌日に最高値を示すことが多い。下垂体機能低下があれば増加しない。クッシング症候群のうち副腎皮質腫瘍によるものは反応せず、クッシング病では過剰反応を示す。
<b>糖負荷試験 (GTT)</b>	<p>ブドウ糖75g (50gまたは100g) を 250～350mlの水に溶かし5分以内に飲用</p> <p>採血スケジュール 前・30分・60分・120分・180分</p>	血糖 IRI CPR など	<p>注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●検査前日の大量飲酒 (日本酒 3 合相当以上) は禁止する。</li> <li>●検査前の過激な運動は禁止する。</li> <li>●絶食時間は10～14時間とし、検査は早朝空腹時に実施し終了まで水以外の摂取は禁止する。</li> <li>●検査中はできるだけ安楽な姿勢で座席につかせ、喫煙は禁止する。精神的緊張も影響するので注意。</li> </ul>

糖尿病の診断と糖負荷試験の判定基準 (糖尿病の診断に関する委員会報告、1982)

- 1) 糖尿病の症状のある場合は、任意の時刻に測定した静脈血漿、静脈全血または毛細血管全血グルコース濃度  $\geq 200$ mg/dL、あるいは朝食前空腹時の静脈血漿グルコース濃度  $\geq 140$ mg/dL、または毛細血管全血あるいは静脈全血グルコース濃度  $\geq 120$ mg/dL であれば、糖尿病と診断してよい。
- 2) 糖尿病の症状があっても上記の基準を満たさない場合、および糖尿病の症状がなくとも糖尿病が疑われる場合は、一定の条件下に75gGTTを施行し、表の如く判定する。この際、とくに糖尿病の症状があり、「糖尿病型」の判定基準を満足した場合は、糖尿病と診断してよい。

		経口ブドウ糖負荷試験		
		50g	75g	100g
糖尿病型	空腹時値 または (および) 2 時間値	$\geq 140$ mg/dL $\geq 180$ mg/dL	$\geq 140$ mg/dL $\geq 200$ mg/dL	$\geq 140$ mg/dL $\geq 240$ mg/dL
正常型	空腹時値 および 1 時間値 および 2 時間値	<110mg/dL <160mg/dL <110mg/dL	<110mg/dL <160mg/dL <120mg/dL	<110mg/dL <160mg/dL <130mg/dL
境界型		糖尿病型にも正常型にも属さないもの		

(静脈血漿値)

## 〈検査の目的〉

血液中の有害物質や尿中の有害物質の代謝物の検査結果は作業者個人への健康障害への予防に役立てたり、作業の実体(作業環境・作業方法)の評価のために使うものです。

作業者の健康状態の正常・異常の鑑別を目的としたものではありません。

個人の暴露量や集団の分布区分は予防の資料として、作業環境測定結果等と総合的に把握して、快適な環境づくりに活用するものです。

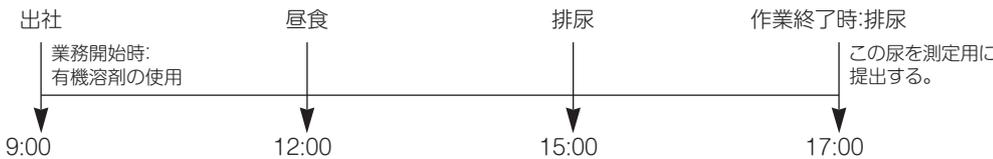
## 〈検体の採取方法〉

有害化学物質はそのまま呼気中に、また代謝された後、尿中に排泄されます。一般的にある物質が体内に取り込まれ、最初の濃度の1/2の濃度になるまでの時間を生物学的半減期といいます。有機溶剤はその種類によって排泄速度は異なりますが、この生物学的半減期が比較的小さいため、作業終了後の所定時間に採取しなければ信頼性のあるデータが得られません。

### ACGIH編 (American Conference of Government Industrial Hygienists)

測定対象物質	使用している化学物質	半減期(時間)	1日暴露後の影響度	採取の方法
血中鉛	鉛	900	5~20% ※1週間後	当該作業に従事している期間であれば任意の時期でよい。
デルタアミノレブリン酸				
馬尿酸	トルエン	1.5	60~80%	(注) 連続した作業日の最初の日を除いた作業終了2時間前に一度排尿して捨てる。作業終了時排尿して所定の容器に必要量を入れて提出する。
メチル馬尿酸	キシレン	3.6	60~80%	
マンデル酸	スチレン	4	40~60%	
2,5-ヘキサンジオン	ノルマルヘキサン	15	20~40%	
総三塩化物 またはトリクロル酢酸	N,N-ジメチルホルムアミド	4	40~60%	(注) 連続した作業日うちで後半の作業日の当該作業終了2時間前に一度排尿して捨てる。作業終了時排尿して所定の容器に必要量を入れて提出する。
	トリクロルエチレン	75	5~20%	
	テトラクロルエチレン	80		
	1,1,1-トリクロルエタン	72		

(注)「作業終了時」とは、例えば9時から17時まで有機溶剤業務に従事している労働者の場合、15時に排尿して測定に用いる尿は17時に採取する事を「作業終了時」の排尿とします。



## 〈検体の保存〉

冷蔵保存して下さい。但し2~3日が限度です。(原則的に尿については冷凍保存とされています)

室温に放置しますと、微生物やカビ類によって代謝物が分解され濃度が減少します。

## 〈尿の濃淡の補正について〉

当所ではクレアチニン補正をしています。但し非常に濃縮されている場合(クレアチニン:3g/L以上)あるいは非常に希釈されている場合(クレアチニン:0.5g/L以下)には測定値の信頼性は低くなり、再度採取の必要性がある場合もあります。

補正前の濃度/補正後の濃度=クレアチニン濃度(g/L)

## 〈鉛則・有機則の健康診断結果分布表〉

有機溶剤等健康診断結果報告書(有機溶剤中毒予防規則、様式第3号の2)  
鉛健康診断結果報告書(鉛中毒予防規則、様式第3号)より

有機溶剤の名称	検査内容	単位	分布※		
			1	2	3
トルエン	尿中馬尿酸	g/L	1以下	1超 2.5以下	2.5超
キシレン	尿中メチル馬尿酸	g/L	0.5以下	0.5超 1.5以下	1.5超
スチレン	尿中マンデル酸	g/L	0.3以下	0.3超 1以下	1超
ノルマルヘキサン	尿中2,5-ヘキサンジオン	mg/L	2以下	2超 5以下	5超
N, N-ジメチルホルムアミド	尿中N-メチルホルムアミド	mg/L	10以下	10超 40以下	40超
テトラクロルエチレン	尿中トリクロル酢酸	mg/L	3以下	3超 10以下	10超
	尿中総三塩化物	mg/L	3以下	3超 10以下	10超
1,1,1-トリクロルエタン	尿中トリクロル酢酸	mg/L	3以下	3超 10以下	10超
	尿中総三塩化物	mg/L	10以下	10超 40以下	40超
トリクロルエチレン	尿中トリクロル酢酸	mg/L	30以下	30超 100以下	100超
	尿中総三塩化物	mg/L	100以下	100超 300以下	300超
鉛関連	血液中鉛	μg/dL	20以下	20超 40以下	40超
	尿中デルタアミノレブリン酸	mg/L	5以下	5超 10以下	10超
	赤血球遊離プロトポルフィリン	μg/dL・RBC	100以下	100超 250以下	250超

遮光保存してください。

※分布1、2、3と分けている数値は、厚生労働省がこの分布に属する人数を行政的に把握する為に設定したものであって、結果を判定する基準となるものではありません。したがってこの数値で診断したり判定したりはしないこととされています。

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料	検査方法	基準値	提出条件 ・備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
4569	血清インジウム <small>3K121-0000-023-920-01</small>	血清2.0	1	冷蔵	8~15		ICP-MS (誘導結合高周波 プラズマ質量分析)	管理濃度 $\mu\text{g/L}$ ※1 3以下		

※1 インジウム濃度が $3\mu\text{g/L}$ 以上の場合であって医師が必要と認める時、就業制限(就業時間短縮、作業の転換、就業場所の変更、治療の為に休業等)の措置がとられる。

#### 〈特定化学物質障害予防規則等の改正〉

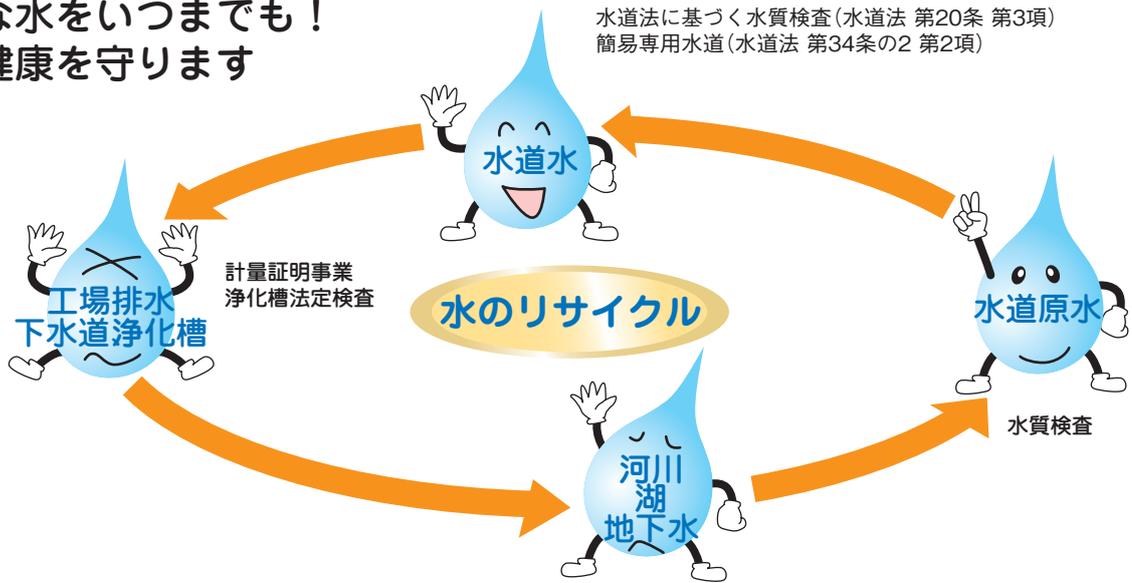
労働者の健康障害防止対策を強化することなどを目的として、『労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令』と『労働安全衛生規則等の一部を改正する省令』が公布され、インジウム化合物、エチルベンゼン、コバルト及びその無機化合物の3物質について、健康障害防止措置が義務付けられました。(平成25年1月1日から施行・適用)

#### 〈インジウム化合物〉

インジウム・スズ酸化物(Indium Tin Oxide:以下「ITO」)は、テレビ、パソコンに使用される液晶等の電極の原料等として使用されているが、液晶の製造工程においてITOの粉じんを吸入した作業者が肺疾患を発症する可能性が指摘されているところである。

また、動物試験(ITO研削粉の吸入によるがん原性試験)の結果において、低濃度の吸入ばく露により発がんを含む肺疾患を起こすことが確認された。

きれいな水をいつまでも！  
府民の健康を守ります



◆飲料水検査

我々が安心して水を使えるように、厚生労働省令によって厳密な安全基準が定められています。  
当所(総合科学分析センター)では、飲料水検査として各項目をセット化しています。(101ページも参照)

11項目	16項目	16項目+	51項目
一般細菌 大腸菌 亜硝酸態窒素 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 塩化物イオン 有機物 pH値 味 臭気 色度 濁度	11項目+ 鉛及びその化合物 亜鉛及びその化合物 鉄及びその化合物 銅及びその化合物 蒸発残留物	16項目+ カドミウム及びその化合物 水銀及びその化合物 セレン及びその化合物 ヒ素及びその化合物 フッ素及びその化合物 ホウ素及びその化合物 アルミニウム及びその化合物 ナトリウム及びその化合物 マンガン及びその化合物 六価クロム化合物	シアン化物イオン及び塩化シアン カルシウム、マグネシウム等(硬度) 各VOC検査11項目 1,4-ジオキサン ハロ酢酸3項目 臭素酸 陰イオン界面活性剤 カビ臭2項目 非イオン界面活性剤 フェノール類 ホルムアルデヒド 塩素酸

◆環境計量証明検査等

河川や海の水質汚染や、大気汚染、土壌汚染などの自然環境の検査をはじめ、産業廃棄物、騒音公害、悪臭といった生活に関するさまざまな検査を実施しております。

◆食品検査

検査を通じて食品の安全・安心をはかり、人々の健康を守ります。当食品検査部門では、成分、添加物、輸入食品の理化学検査から、各種病原菌に対する微生物検査まで広範囲の検査を実施しています。

微生物検査		理化学検査
一般細菌数 大腸菌群 黄色ブドウ球菌 腸炎ピブリオ サルモネラ セレウス菌 リステリア	病原大腸菌 O-157 カンピロバクター 緑膿菌 乳酸菌 真菌数 他各菌種	栄養成分(水分、灰分、蛋白質、脂質、炭水化物、糖質、食物繊維、各ビタミン、各ミネラル無機成分)検査 清涼飲料水規格検査 かんすい規格試験 タール色素製剤規格試験 アミノ酸組成分析 他農薬分析等各検査

◆簡易専用水道及び浄化槽法定検査

ビルやマンションの水を供給するためにある受水槽や高架水槽の法定検査を水道法の基準に照らし行っています。また、浄化槽も同様に浄化槽法に照らした設備の法定検査を行っています。

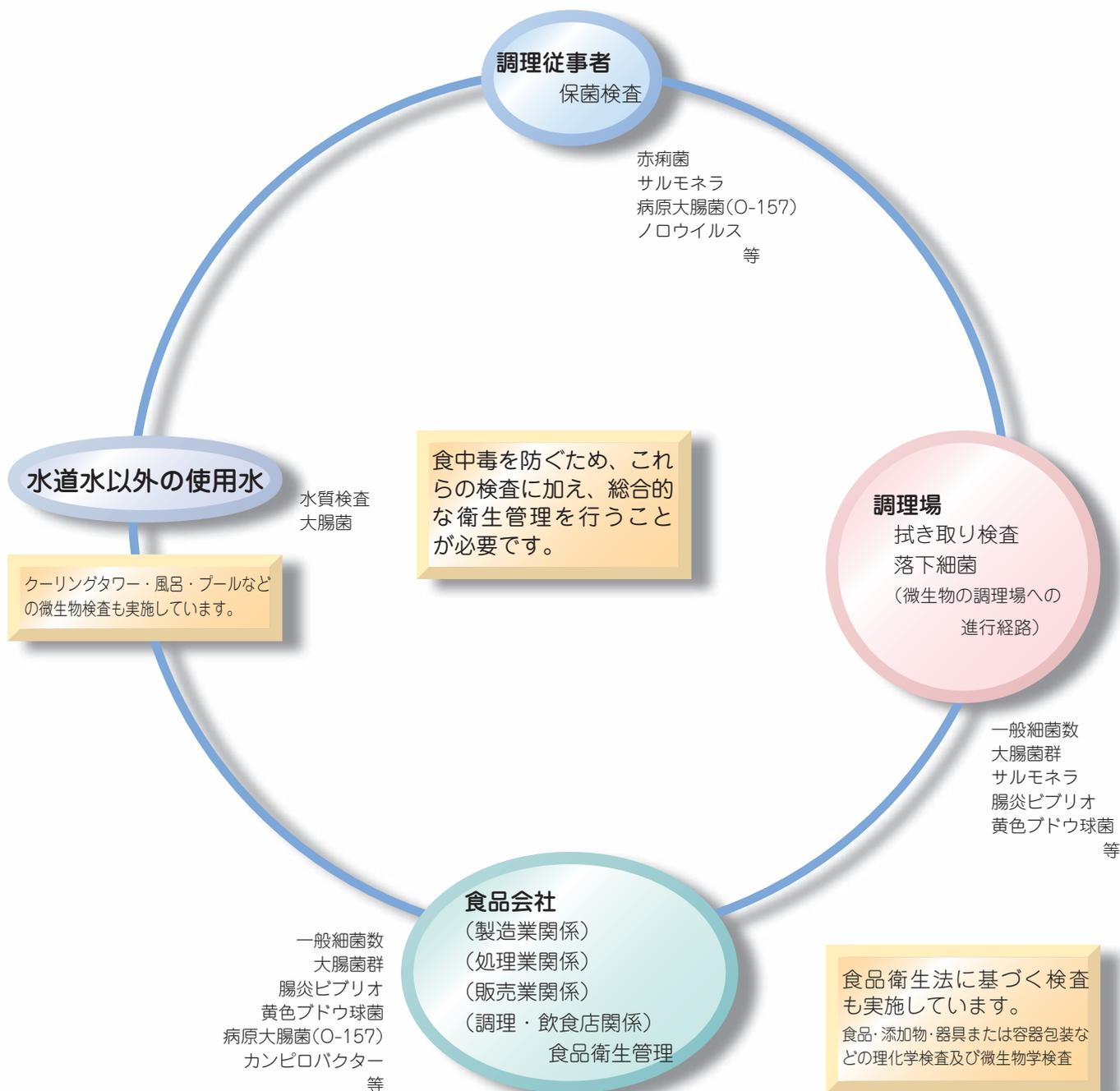
水質、浄化等環境衛生上の管理問題が有りましたら、指導相談を実施しておりますので環境担当迄お問い合わせ下さい。

◆その他の分析検査

ダイオキシン類分析検査、レントゲン室等の漏洩放射線測定及び研究、治験検査等を行っています。

## < 総合衛生管理事業 >

当所では、ホテルや旅館、飲食業、百貨店、給食事業者などに対し、総合的な衛生管理のサポートや検査を行っています。これまで、調理する人の保菌検査（検便検査）が主流でしたが、食中毒などへの企業の危機感が高まるにつれ、包丁などの調理器具をはじめ、冷蔵庫の把手やドアノブといった調理場の衛生検査を行うケースが増え、より徹底したものとなっています。また、府民の衛生を守る立場から、事前予防を提唱。お客様が衛生教育を行うための研修活動や、予防のための講演会、セミナーを積極的に実施するなど、衛生管理のアドバイザーとしての役割を果たしています。



## ◆飲料水等・水質検査項目一覧

省令 No	項目名	水道基準 51 項目	水道原水 40 項目	省略不可 23 項目	省略不可 9 項目	11 項目	ビル管 16 項目	消毒副生成物 12 項目
1	一般細菌	○	○	○	○	○	○	
2	大腸菌	○	○	○	○	○	○	
3	カドミウム及びその化合物	○	○					
4	水銀及びその化合物	○	○					
5	セレン及びその化合物	○	○					
6	鉛及びその化合物	○	○				○	
7	ヒ素及びその化合物	○	○					
8	六価クロム化合物	○	○					
9	亜硝酸態窒素	○	○	○		○	○	
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	○	○	○				○
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	○	○	○		○	○	
12	フッ素及びその化合物	○	○					
13	ホウ素及びその化合物	○	○					
14	四塩化炭素	○	○					
15	1,4-ジオキサン	○	○					
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	○	○					
17	ジクロロメタン	○	○					
18	テトラクロロエチレン	○	○					
19	トリクロロエチレン	○	○					
20	ベンゼン	○	○					
21	塩素酸	○		○				○
22	クロロ酢酸	○		○				○
23	クロロホルム	○		○				○
24	ジクロロ酢酸	○		○				○
25	ジブromクロロメタン	○		○				○
26	臭素酸	○		○				○
27	総トリハロメタン	○		○				○
28	トリクロロ酢酸	○		○				○
29	ブromジクロロメタン	○		○				○
30	ブromホルム	○		○				○
31	ホルムアルデヒド	○		○				○
32	亜鉛及びその化合物	○	○				○	
33	アルミニウム及びその化合物	○	○					
34	鉄及びその化合物	○	○				○	
35	銅及びその化合物	○	○				○	
36	ナトリウム及びその化合物	○	○					
37	マンガン及びその化合物	○	○					
38	塩化物イオン	○	○	○	○	○	○	
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	○	○					
40	蒸発残留物	○	○				○	
41	陰イオン界面活性剤	○	○					
42	ジェオスミン	○	○					
43	2-メチルイソボルネオール	○	○					
44	非イオン界面活性剤	○	○					
45	フェノール類	○	○					
46	有機物（全有機炭素 TOC）	○	○	○	○	○	○	
47	pH値	○	○	○	○	○	○	
48	味	○	○	○	○	○	○	
49	臭気	○	○	○	○	○	○	
50	色度	○	○	○	○	○	○	
51	濁度	○	○	○	○	○	○	
	遊離残留塩素	○		○	○	○	○	○
	有機リン							
	1,1,1-トリクロロエタン							

## ◆飲料水等・水質検査項目一覧

省令 No	項目名	26 項目	15 項目	食品衛生法 26 項目	TCE 3 項目	プール水一般	プール水一般 + THM	THM 5 項目	雑用水
1	一般細菌	○	○	○		○	○		
2	大腸菌	○	○	○ (大腸菌群)		○	○		○
3	カドミウム及びその化合物	○		○					
4	水銀及びその化合物	○		○					
5	セレン及びその化合物								
6	鉛及びその化合物	○		○					
7	ヒ素及びその化合物	○		○					
8	六価クロム化合物	○		○					
9	亜硝酸態窒素	○	○						
10	シアン化合物及び塩化シアン	○		○					
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	○	○	○					
12	フッ素及びその化合物	○		○					
13	ホウ素及びその化合物								
14	四塩化炭素								
15	1,4- ジオキサン								
16	シス-1,2- ジクロロエチレン及びトランス-1,2- ジクロロエチレン								
17	ジクロロメタン								
18	テトラクロロエチレン				○				
19	トリクロロエチレン				○				
20	ベンゼン								
21	塩素酸								
22	クロロ酢酸								
23	クロロホルム						○	○	
24	ジクロロ酢酸								
25	ジブromoklorometan						○	○	
26	臭素酸								
27	総トリハロメタン						○	○	
28	トリクロロ酢酸								
29	ブromodichlorometan						○	○	
30	ブromoholm						○	○	
31	ホルムアルデヒド								
32	亜鉛及びその化合物	○	○	○					
33	アルミニウム及びその化合物								
34	鉄及びその化合物	○	○	○					
35	銅及びその化合物	○		○					
36	ナトリウム及びその化合物								
37	マンガン及びその化合物	○	○	○					
38	塩化物イオン	○	○	○					
39	カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	○	○	○					
40	蒸発残留物	○		○					
41	陰イオン界面活性剤	○		○					
42	ジェオスミン								
43	2-メチルイソボルネオール								
44	非イオン界面活性剤								
45	フェノール類	○		○					
46	有機物 (全有機炭素 TOC)	○	○	○ (KMnO4 消費量)		○ (KMnO4 消費量)	○ (KMnO4 消費量)		
47	pH値	○	○	○		○	○		○
48	味	○	○	○					
49	臭気	○	○	○					○
50	色度	○	○	○					○ (外観)
51	濁度	○	○	○		○	○		○
	遊離残留塩素	○	○	○		○	○		
	有機リン			○					
	1,1,1-トリクロロエタン				○				

## ◆水質検査

一般項目
全硬度
カルシウム硬度
全鉄
全マンガン
陰イオン界面活性剤
非イオン界面活性剤
ヨウ素消費量
アンモニア性窒素
亜硝酸性窒素
硝酸性窒素
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素
アンモニア亜硝酸硝酸性窒素含量
有機性窒素
有機体炭素 (TOC)
塩化物イオン
硫化物イオン
硫酸イオン
硝酸イオン
硫黄イオン
リン酸イオン
リン酸態リン
重炭酸イオン
遊離炭酸
侵食性遊離炭酸
ランゲリア指数
溶解性ケイ酸
全ケイ酸
総アルカリ度
酸度
電気伝導率
酸化還元電位
MLSS
MLVSS
コロロフィルa
臭素イオン
溶存メタン
ナトリウム
カリウム
カルシウム
マグネシウム
アルミニウム
銀
スズ
コバルト
バナジウム
ベリリウム
アンチモン
ゲルマニウム
モリブデン

水質細菌項目
一般細菌数
大腸菌
大腸菌群
大腸菌群数 (個/ml)
大腸菌群数 (MPN/100ml)
病原大腸菌 (O-157)
病原大腸菌
糞便性大腸菌
黄色ブドウ球菌
サルモネラ
レジオネラ (定性)
レジオネラ (定量)
クリプトスポリジウム
ジアルジア
大腸菌 (クリプト指標菌)
ウエルシュ菌 (クリプト指標菌)

水質農薬項目
(殺虫剤)
アセフェート
イソキサチオン
イソフェンホス
カルボフラン
クロロピリホス
ジクロロボス (DDVP)
ダイアジノン
トリクロロホン (DEP)
ピリダフェンチオン
フェントロチン (MEP)
フェノプカルブ (BPMC)
EPN
(殺菌剤)
イソプロチオラン
イプロジオン
イプロベンホス (IBP)
エトリジアゾール (エクロメゾール)
オキシ銅 (有機銅)
キャプタン
クロロタロニル
クロロネブ
チウラム (チラム)
トルクロホスメチル
フルトラニル
ペンシクロン
メタラキシル
メプロニル
(除草剤)
アシュラム
クロルニトロフェン (CNP)
ジチオピル
シマジン (CAT)
チオベンカルブ
テルブカルブ (MBPMC)
トリクロピル
ナプロパミド
ピリプチカルブ
プタミホス
プロピザミド
ベンスリド (SAP)
ベンタゾン
ペンディメタリン
ベンフルラリン (ベスロジン)
メコプロップ (MCP)
メチルダイムロン
2,4-ジクロロフェノキノン酢酸

## ◆計量証明等・水質検査

生活環境項目
pH
COD (Mn)
BOD
浮遊物質量 (SS)
溶存酸素量 (DO)
ヘキササン抽出物質量
ヘキササン抽出物質 (鉱物油)
ヘキササン抽出物質 (動植物油)
フェノール類
銅
亜鉛
溶解性マンガン
溶解性鉄
ニッケル
全クロム
フッ素
ホウ素
全リン
全窒素
大腸菌群
大腸菌群数 (個/ml)
大腸菌群数 (MPN/100ml)

健康項目
カドミウム
全シアン
鉛
六価クロム
砒素
有機リン
全水銀
アルキル水銀
ポリ塩化ビフェニル (PCB)
ジクロロメタン
四塩化炭素
1,2-ジクロロエタン
1,1-ジクロロエチレン
シス-1,2-ジクロロエチレン
1,1,1-トリクロロエタン
1,1,2-トリクロロエタン
トリクロロエチレン
テトラクロロエチレン
1,3-ジクロロプロペン
チウラム
シマジン
チオベンカルブ
ベンゼン
セレン

一般項目
臭気
色度
濁度
透視度
KMnO4消費量
蒸発残留物
アミン類

## ◆土壌等溶出試験

溶出項目
カドミウム
全シアン
有機リン
鉛
六価クロム
砒素
全水銀
アルキル水銀
ポリ塩化ビフェニル (PCB)
銅
ジクロロメタン
四塩化炭素
1,2-ジクロロエタン
1,1-ジクロロエチレン
シス-1,2-ジクロロエチレン
1,1,1-トリクロロエタン
1,1,2-トリクロロエタン
トリクロロエチレン
テトラクロロエチレン
1,3-ジクロロプロペン
チウラム
シマジン
チオベンカルブ
ベンゼン
セレン
フッ素
ホウ素
塩素イオン
亜鉛
有機塩素化合物
油分

## ◆ダイオキシン類測定分析

ダイオキシン類測定分析
排ガスダイオキシン類
焼却灰・飛灰ダイオキシン類
水質・底質ダイオキシン類
土壌ダイオキシン類
環境大気ダイオキシン類
作業環境ダイオキシン類
生体ダイオキシン類
魚介類ダイオキシン類

## ◆外因性内分泌攪乱化学物質分析

外因性内分泌攪乱化学物質分析
ノニルフェノール
ビスフェノールA
4-t-オクチルフェノール
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
フタル酸ジ-n-ブチル
環境ホルモン各項目

## ◆土壌等含有量試験

含有量項目
pH (H <sub>2</sub> O)
pH (KCL)
塩化物
硫化物
銅
亜鉛
鉄
マンガン
ニッケル
カドミウム
シアン
鉛
全クロム
砒素
フッ素
ホウ素
全水銀
アルキル水銀
全窒素
全リン
有機リン
リン酸全量
ケイ酸全量
炭素全量
カリ全量
電気伝導率
酸化チタン
アンチモン
含水率
強熱減量
乾燥減量
強熱残留物
ナトリウム
カリウム
カルシウム
マグネシウム
アルミニウム
ポリ塩化ビフェニル (PCB)
ジクロロメタン
四塩化炭素
1,2-ジクロロエタン
1,1-ジクロロエチレン
シス-1,2-ジクロロエチレン
1,1,1-トリクロロエタン
1,1,2-トリクロロエタン
トリクロロエチレン
テトラクロロエチレン
1,3-ジクロロプロペン
チウラム
シマジン
チオベンカルブ
ベンゼン
セレン
油分
単位容積重量 (比重)
形状
大きさ

## ◆排ガス・ボイラー 大気測定

大気測定項目
ばいじん
窒素酸化物
硫黄酸化物
塩化水素
二酸化炭素
一酸化炭素
カドミウム
クロム
砒素
水銀
亜鉛
マンガン
銅
鉄
鉛
ニッケル

## ◆ガス分析測定

ガス分析測定項目
酸素
窒素
一酸化炭素
二酸化炭素
メタン

## ◆悪臭測定

悪臭測定項目
アンモニア
トリメチルアミン
アセトアルデヒド
スチレン
メチルメルカプタン
硫化水素
硫化メチル
二硫化メチル
プロピオン酸
ノルマル吉草酸
イソ吉草酸
プロピオンアルデヒド
ノルマルブチルアルデヒド
イソブチルアルデヒド
ノルマルバレールアルデヒド
イソバレールアルデヒド
イソブタノール
酢酸エチル
メチルイソブチルケトン
トルエン
キシレン
臭気指数 (官能試験)

## ◆作業環境測定

項目名	測定法
鉱物性粉じん	重量分析法 相対濃度法
石棉	計数法
遊離けい酸	重量分析法
特定化学物質	検知管法
	吸光度計
	ガスクロマトグラフ法
原子吸光度計	原子吸光度計
鉛	検知管法
有機溶剤 (単一)	吸光度法
	ガスクロマトグラフ法
有機溶剤 (混合)	ガスクロマトグラフ法

## ◆シックハウス・スクール測定

測定項目
ホルムアルデヒド
3種セット (トルエン キシレン パラジクロロベンゼン)
5種セット (トルエン キシレン パラジクロロベンゼン エチルベンゼン スチレン)





---

# 主要参考文献

---

	項目コード	項目名	参考文献名
脳下垂体関連	2228	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	楚南 盛正:医学と薬学, 46 (5) : 759-771, 2001
	2101	成長ホルモン (GH)	岩原 邦宏, 他:医学と薬学, 52 (2) : 255-259, 2004
	5480	IGF-I (ソマトメジン-C)	Isojima.T, et al:Endocrine Journal 59:771-780, 2012
	2542	黄体形成ホルモン (LH)	岡田 久:ホルモンと臨床,40(12),1303(85),1992
	2543	卵胞刺激ホルモン (FSH)	岡田 久:ホルモンと臨床,40(12),1303(85),1992
	2131	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	阿部 正樹, 他:医学と薬学, 57 (2) : 239-244, 2007
	2544	プロラクチン(乳汁分泌ホルモン) PRL	岡田 久:ホルモンと臨床,40(12),1303(85),1992
膵臓・消化管	249	インスリン IRI	目黒豊子, 他:臨床検査機器・試薬, 7 : 825, 1984
	2301.4522	インスリン抗体(総、遊離、結合率)	村山 寛, 他:医学と薬学, 60 : 289-297, 2008
	289	C-ペプチド CPR	佐久間伸子, 他:ホルモンと臨床 40 : 93, 1992
	299	尿中C-ペプチド U-CPR	武田 裕子, 他:医学と薬学, 53 (2) : 249-256, 2005
		膵グルカゴン	富永真琴, 他:ホルモンと臨床 28(11):1323-1327, 1980
	2316	ガストリン	飯沼一茂, 他:RADIOISOTOPES 31(7) : 350-356, 1982
	2315	グリココール酸(CG)	金森 勇雄 他:日本放射線技師会雑誌, 26 (4) : 17-22, 1978
	1093	エラスターゼ1	大出 勝也, 他:肝と膵23 (6) : 477-480, 2002
	1324	膵ホスホリパーゼA2 PLA2	小川 道雄:臨床検査 35 (10) : 1055-1059, 1991
	1279	ペプシノーゲンI、II	木村 良子, 他:核医学, 26 : 1217, 1989
	2226	サイロキシン T4	東 直樹:医学と薬学, 27(6):1467, 1992
	2541	遊離サイロキシン Free-T4	斉藤 一二三, 他:ホルモンと臨床, 41(10), 1031, 1993
	2227	トリヨードサイロニン T3	濁沼 朗生:医学と薬学, 28(6):1315, 1992
2235	サイロキシン結合グロブリン TBG	海瀬信子, 他:核医学, 16(5) : 777-783, 1979	
2241	サイログロブリン	森田 新二, 他:医学と薬学, 49 (5) : 797-805, 2003	
2545	遊離トリヨードサイロニン Free-T3	濁沼 朗生:医学と薬学, 28(6):1315, 1992	
331	サイロイドテスト	安孫子兵三郎, 他:セロディア-ATG, AMCの使用経験、臨床的検査機器・試薬, 6(4) : 1011-1013, 1983	
332	マイクロゾームテスト	同上	
5295	TSHレセプター抗体	吉村 弘, 他:医学と薬学 59(6) : 1111-1120, 2008	
5463	TSAb(甲状腺刺激性抗体)	長田 篤雄, 他:ホルモンと臨床, 41(10), 1023-1030, 1993	
1214	抗サイログロブリン抗体	森田 新二, 他:医学と薬学 55 (5) : 775-782, 2006	
2231	トリオソルブ(T3摂取率)	上條 桂一, 他:医学と薬学 40 : 387-394, 1998	
副甲状腺機能	2222	副甲状腺ホルモン-C末端 PTH-C	鳥住 和民, 他:RADIOISOTOPES 34 : 378-381, 1985
	1283	副甲状腺ホルモン -INTACT PTH	月田 由香, 他:医学と薬学 61 : 621-627, 2009
	2181	1,25(OH)2 ビタミンD3	Fraser WD et al:Ann Clin Biochem 34 : 632-637, 1997
	2224	カルシトニン CT	高見 博, 他:ホルモンと臨床, 37(2) : 151-155, 1989
副腎髄質・交感神経	2173	血中カテコールアミン3分画	辻 潮 他:臨床検査機器・試薬 11 (4) : 635-641, 1988
	2174	尿中カテコールアミン3分画	Honda S et al:Analytica Chimica Acta 149 : 297-303, 1983
	2185	メタネフリン分画(尿)	Honda S et al:Analytica Chimica Acta 149 : 297-303, 1983
	521	バニールマンデル酸 U-VMA	Flood, J., et al:Clin.Chem., 25, 1234, 1979
	5447.1124	バニールマンデル酸 VMA(血漿、髄液)	Gironi A et al:Clinical Chemistry 34 (12) : 2504-2506, 1988
	2180	ホモバニリン酸 U-HVA	Rosano, T. G., et al:Clin Chem., 27, 228, 1981
	2179.5118	ホモバニリン酸 HVA(血漿、髄液)	Gironi A et al:Clinical Chemistry 34 (12) : 2504-2506, 1988
	2178	血中ドーパミン(総)	守 和子:産業医学, 17(3) : 170-171, 1975
	5119	ドーパ(尿) DOPA	守 和子:蛋白質・核酸・酵素, 26(9) : 1099-1103, 1981
	2187.1259	5ハイドロキシインドール酢酸5-HIAA(髄液、血漿)	小島 司 他:臨床化学 21 (2) : 119-126, 1992
2188	5ハイドロキシインドール酢酸 U-5HIAA	小島 司, 他:21(2) : 119-126, 1992	
副腎皮質・副腎性腺機能	2163	17-KGS(総)	神戸川 明:ホルモンと臨床 22 (11) : 1311-1318, 1974
	5128	17-KGS分画 17-KGS-F	神戸川 明:ホルモンと臨床 22 (11) : 1311-1318, 1974
	2160	11-OHCS	宇田川 美佐子 他:臨床化学 5 (3) : 321-325, 1977
	2207	プレグナントリオール	平井 利生 他:日本臨床検査自動化学会誌 J J C L A 9 (2) : 564-567, 1984
	2147	コルチゾール	地曳 和子, 他:ホルモンと臨床, 28(9) : 1127-1132, 1980
	2159	コルチゾン	遠藤 伸, 他:ホルモンと臨床: 45 (7) : 707-714, 1997
	5131	コルチコステロン	Nabors CJ Jr et al:Steroids 23 : 363-379, 1974

	項目コード	項目名	参考文献名	
副腎皮質・副腎性腺機能	5132	11-デオキシコルチゾール 11-DOF	大橋 輝久 他:日本内分泌学会雑誌 57:983-996, 1981	
	2164	デオキシコルチコステロンDOC	栃木 武一 他:ホルモンと臨床 24(11):1151-1156, 1976	
	2151	アルドステロン	塩之入 洋 他:医学と薬学 21(2):293-302, 1989	
	2152	尿中アルドステロン	塩之入 洋 他:医学と薬学 21(2):293-302, 1989	
	2191	血漿レニン活性(PRA)	廣井 直樹 他:医学と薬学 32(1):81-86, 1994	
	5136	レニン定量(活性型)	金森 勇雄、他:医学と薬学 33(1):263-267,1995	
	2192	アンギオテンシン1	岩鼻 美佐 他:医学と薬学 36(2):297-303, 1996	
	2193	アンギオテンシン2	岩鼻 美佐 他:医学と薬学 36(2):297-303, 1996	
	5137	アンギオテンシン I 転換酵素 ACE	Yasushi Kasahara,et al:Clin.Chem.,27(11),1922,1981	
	2166	デヒドロエピアンドロステロンサルフェート DHEA-S	増戸 梨恵 他:医学と薬学 56(3):443-448, 2006	
	5144	アンドロステンジオン	神戸川 明:日本臨床 53(増):491-494, 1995	
	2153	アンドロステロン	国分 知子 他:日本内分泌学会雑誌 54(2):117-130, 1978	
	2201	総エストロジェン(非妊婦)	高見 知子 他:日本内分泌学会雑誌 59(1):10-19, 1983	
	2202	尿中エストロン U-E1	牧野 拓雄 他:日本内分泌学会雑誌 50(4):788-796, 1974	
	2208	エストラジオール E2	梶村 秀雄:産婦人科の実際 37:911,1988	
	4771	尿中エストラジオール U-E2	牧野 拓雄 他:日本内分泌学会雑誌 50(4):788-796, 1974	
	4772	尿中エストリオール U-E3	牧野 拓雄 他:日本内分泌学会雑誌 50(4):788-796, 1974	
	性腺機能検査	1227	エストロジェン・レセプター	佐藤 文三:ホルモンと臨床 33:977,1985
		1226.2215	プロゲステロン・レセプター	中尾 誠:ホルモンと臨床 36:189,1988
		2206	プレグナジオール	平井 利生 他:日本臨床検査自動化学会誌J J C L A 9(2):564-567, 1984
1466		プロジェステロン	高橋 晃、他:ホルモンと臨床 32(4):375-378,1984	
2210		テストステロン	木内 理世、他:医学と薬学 64(1):87-93,2010	
2213.2312		遊離HCG-β定量	尾森 春艶、他:核医学 29:709-716, 1992	
2212.4658		ヒト絨毛性ゴナドトロピンHCG	末岡 浩 他:医学と薬学 33(1):273-278, 1995	
2591		尿中ヒト絨毛性ゴナドトロピンU-HCG	末岡 浩 他:医学と薬学 33(1):273-278, 1995	
355		ヒト胎盤性ラクトゲン HPL	蔵方 宏昌、他:Phadebas HCS Test kitの使用経験、薬理と治療、2(1):160-169,1974	
592		免疫学的妊娠反応定性	稲井 真禰:免疫学的妊娠反応、図説臨床検査法、553,1980	
その他	2248.5166	サイクリックAMP(血漿、尿)	Honma,M.,etal:AnUltrasensitive Method for the Simultaneous Determination of Cyclic AMP and Cyclic GMP inSmall-Volume Samplesfrom Blood and Tissue,Biochem.Med.,18,257-273,1977	
	4974	エリスロポエチン	増田 詩織、他:医学と薬学 67:297-306, 2012	
	5467	心房性Na利尿ペプチド α-ANP	下迫 賢一、他:医学と薬学 57:901-906, 2007	
蛋白	1032	血清総蛋白TP	金井 泉、他:臨床検査法提要(第27版)、Ⅶ 13、金原出版、1978	
	167	アルブミン	水田 亘、他:臨床病理 19(補)、337,1971	
	1098	A/G比	金井 泉、他:臨床検査法提要(第29版)、411、金原出版、1983	
	1034	蛋白分画	金井 泉、他:臨床検査法提要(第31版)481-490、金原出版、1998	
	2494.2495	尿中アルブミン	野村 武則、他:医学と薬学 15(3):959-966,1986	
	2169.4881	尿中マイクロトランスフェリン	遠藤 隆、他:医学と薬学 28(5):1055,1992	
窒素化合物	1051.0105	尿素窒素 BUN(血清、尿)	Van Anken,H.C.and Schphorst,M.E:Akineticdetermination of ammonia in Plasma,Clin.Chem.Acta.,56,151-157,1974	
	1049.0106	尿酸 UA(血清、尿)	Lorentz,K.and Borndt,W.:Enzymic Determination of Uric Acid by a Colorimetric Method,Anal.Biochem.,18,58~63,1967	
	1055.1054	クレアチン	金井 泉、他:臨床検査法提要 Ⅶ35-38、金原出版、1964	
	1053.1052	クレアチニン		
	144.4962	クレアチニンクリアランス		
	2466	尿素クリアランス	金井 泉、他:臨床検査法提要(第29版) 807、金原出版、1983	
	1056	血中アンモニア	金井 泉、他:臨床検査法提要(第29版) 436-438、金原出版Ⅶ1983	
アミノ酸		特定アミノ酸分析	鷹野 重威、他:アミノ酸の高速液体クロマトグラフ835型日立高速アミノ酸分析計-THE HITACHI SCIENTIFIC INSTRUMENT NEWS、20(4)、1784-1788,1977	
		総アミノ酸分析	同上	
		アミノ酸分析(髄液、透析液、組織、他)	植木 眞琴、他:臨床病理Ⅶ28(補)、138,1980	
	147	ハイドロキシプロリン(総)	鈴木 隆夫 他:日本臨床化学会年会記録 28:118, 1988	
	148.0149	ハイドロキシプロリン(遊離)(血漿、尿)	鈴木 隆夫 他:日本臨床化学会年会記録 28:118, 1988	
459	総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比	和田 明子、他:臨床検査機器・試薬 18:621-627, 1995		

	項目コード	項目名	参考文献名	
糖および糖代謝産物	209	血糖	杉山 弘,他:臨床検査機器・試薬 5:4,1982	
	1255	1.5.A.G.	山内 俊一:糖尿病 33:41,1990	
	510.0502	尿糖	杉山 弘,他:臨床検査機器・試薬 5:4,1982	
	107	乳酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8:16-24,1985	
	108	ビルビン酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8:16-24,1985	
	2468	ヒアルロン酸	近藤 孝司,他:臨床病理別冊 39(5):536,1991	
	1060	アセトン	深堀 すみ江,中明 賢二:労働科学 59:555,1968	
	2406	血中ケトン体分画	Harano,Y.et al:Clin.Chem.Acta. 134:327,1984	
	2539	グリコアルブミン	島 健二:日本臨床 47(増刊号):111,1989	
	酵素活性	1010	総酸ホスファターゼ ACP	木下 忠雄:Med.Technol 12:1054, 1984
1011		アルカリホスファターゼ	飯野 四郎:日本臨床 43(増刊号):159,1985	
1012		AST	北村 元任,他:実践臨床化学(増補版):380,1982	
151		ミトコンドリア GOT M-GOT	白波瀬 泰史,他:第7回日本臨床化学会分析部会関東支部学術集会 講演会抄録:40-44,1989	
1013		ALT	北村 元任,他:実践臨床化学(増補版):380,1982	
1014		LD	Wrobleuski,F.et al:Proc Soc Exp Biol Me 90:210,1955	
1017		γ-GT	有馬 正栄:臨床と研究,48,206,1971	
1016		ロイシンアミノペプチターゼ LAP	金井 正光,他:臨床検査概要(第29版):529,1983	
1015		血清コリンエステラーゼ ChE	北村 元任,他:実践臨床化学,(増補版),医歯薬出版:418,1982	
1018		クレアチンホスホキナーゼ CK	Gerhardt,W.,et al:The Committee on Enzymes of the Scandinavian Society for Clinical Chemistry and Clinical Physiology,J.Clin.Lab.Invest.,36,711,1976	
5409		CK-MB	五味 邦英:臨床病理,55(増),80,1983	
1020.1021		アミラーゼ(血清,尿)	牧野 淳子:Med.Technol 12:149,1984	
525		δ-アミノレブリン酸脱水素酵素	Chi b a,M.,et al:Industrial Health 14:67,1976	
1046		L-CAT	Manabe M, et al:J.Lipid Res 28:1206, 1987	
1024		アルドラーゼ	宮原 洋一:Med Technol 12:157-162, 1984	
1022.1029		リパーゼ(血清,尿)	WilliamC.Vogal and Leslie Zieve:A Rapid and Sensitive Turbidimetric Method for Serum Lipase Based upon Differences Between the Lipases of Normal and Pancreatitis Serum,Clin.Chem.,9,2,168-179,1963	
112.0113		リゾチーム(血清,尿)	北村 元任:実践臨床化学(増補) 432-436, 1982	
2371		トリプシン	河野 幹彦,他:医学と薬学 53(5):635-641, 2005	
141		グアナーゼ	伊東 進:肝胆膵 11:448-456, 1985	
2407		神経特異エノラーゼ NSE	堀田 多恵子 他:生物試料分析 34(5):345-353, 2011	
1093		エラスターゼ1	大出 勝也,他:肝と膵23(6):477-480, 2002	
1027		NAG(血清)	野戸 章,他:臨床病理,56(臨増),65,1983	
1025		NAG(尿)	北橋 繁:臨床病理学編集,XXX30,250,1982	
142		ADA(アデノシンデアミナーゼ)	佐野 史良,他:臨床検査機器・試薬 9:715-720, 1986	
2548		ヘパリン負荷リボ蛋白リパーゼ	Kobayashi J et al:Clinica Chimica Acta 216:113-123, 1993	
酵素アイソザイム		162	LDアイソザイム(血清)	Wolf,P.L.,et al:Interpretation of Electrophoretic Patterns of Proteins and Isoenzymes,Year Book of Medical Publishers,INC.p.55,1981
		161	ALPアイソザイム	Wolf,P.L.,et al:Interpretation of Electrophoretic Patterns of Proteins and Isoenzymes,Year Book of Medical Publishers,INC.p.88,1981
		163.0164	アミラーゼアイソザイム(血清,尿)	大川二郎:アミラーゼアイソザイムの測定法、検査と技術 II,3:227-232,1983
		116	LAPアイソザイム	神田進司,他:電気泳動分析によるLAPの多様性の解析、LAP研究会報告書,p.79,1981
		165	CKアイソザイム	Wolf,P.L.,et al:Interpretation of Electrophoretic Patterns of Proteins and Isoenzymes,Year Book of Medical Publishers,INC.p.551,1981
	117	γ-GTアイソザイム	Wolf,P.L.,et al:Interpretation of Electrophoretic Patterns of Proteins and Isoenzymes,Year Book of Medical Publishers,INC.p.121,1981	
	2319	LDアイソザイム1型	高木康,他:臨床検査機器・試薬 15(1):11,1992	
生体色素検査	1001.1002	ビリルビン(総、直接、間接)	Malloy,H.T.and Evelyn,K.A.,J.Biol.Chem.,119,481,1973	
	1009	硫酸亜鉛試験 ZTT	金井 泉,他:臨床検査法提要(第29版),710,金原出版,1983	
	1008	チモール混濁試験 TTT	金井 泉,他:臨床検査法提要(第29版),711,金原出版,1983	
	525	δ-アミノレブリン酸 D-ALA	近藤雅雄,浦田郡平:Med.Technol.,6,1108,1978.ポルフォビリノーゲン(尿)	
	527	ポルフォビリノーゲン(尿)	垣下 榮三:日本臨床 53(増):871-876, 1995	
	1402	ウロポルフィリン(血液)	Salmi M et al:Clinical Chemistry 26(13):1832-1835, 1980	

	項目コード	項目名	参考文献名
生体色素検査	528	ウロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄:日本臨床 53(6):1377-1382,1995
	5228	コプロポルフィリン(血液)	Salmi M et al: Clinical Chemistry 26(13):1832-1835,1980
	526	コプロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄:日本臨床 53(6):1377-1382,1995
	2246	プロトポルフィリン(血液)	Salmi M et al: Clinical Chemistry 26(13):1832-1835,1980
	1443	フェノールスルホフタレイン試験PSP	金井 泉,他:臨床検査法提要(第29版),818-821,金原出版,1983
脂質関連物質	122	インドサイアニンググリーン(停滞率) ICG	金井 泉,他:臨床検査法提要(第29版),732-734,金原出版,1983
	1035	総コレステロール T-CHO	Chades C.Allain:Enzymatic Determination of Total Serum Cholesterol, Clin.Chem.,21,470-475,1974
	1036	遊離コレステロール F-CHO	金井 正光:臨床検査法提要(第33版):464,2010
	1099	エステル型コレステロール E-CHO	金井 泉,他:臨床検査法提要(第29版),456,金原出版,1983
	1040	HDLコレステロール HDL-CHO	杉内 博幸,他:第6回臨床検査医学研究会要旨集,1994
	5440	HDL2,3コレステロール	Bronzert,T.J.,et al:23(11):2089-2098,1977
	1043	総脂質T-LIPD	Christopher S.Frings,Ralph T.Dunn.Clin.Chem.53,89,1970
	1037	中性脂肪(トリグリセライド) TG	木田 正章,他:GPOを用いたTG測定方法の検討,臨床化学補冊第一集,75,1981
	1039	リン脂質 PL	Takayama,M.,et al:Clin.Chem.Acta.,79,93,1977
	1038	$\beta$ -リポ蛋白 B-LP	Kilingworth,L.M.and Savory,J.:Clin.Chem.,1S,403,1973
	169	リポ蛋白分画 LP-F	Robert P.No b le:Journalof LIPID RESEARCH,9,693,1968
	5149	リポ蛋白分画定量	石原 清隆,他:JJCLA 22:247-250,1997
	1113	全脂質構成脂肪酸分画	小沢 昭夫,他:分析化学,32,174,1983
	1272	脂肪酸4分画	小沢 昭夫,他:分析化学,32,174,1983
	1041	遊離脂肪酸NEFA	Oberbacher,M.F.and vines,H.M.:Electrophotometric Assay of Axcorbic Acid Oxidase,Nature,197,1203,1963
	0125~0130	アポリポ蛋白(A I、A II、B、C II、C III、E)	岡崎 伸次 他:日本臨床検査自動化学会誌 J J C L A 12:334,1987
	1298	LP(a)	藤田 誠一,他:臨床化学 20:193-202,1991
	155	レムナント様リポ蛋白コレステロール	大石 千早,他:日本臨床検査自動化学会誌 35(1):83-87,2010
	胆汁関連物質	1045	総胆汁酸 TBA
2315		グリココール酸(CG)	金森 勇雄,他:日本放射線技師会雑誌 26(4):17-22,1978
電解質	1061.0131	ナトリウム Na(血清、尿)	北村 元仕,他:ナトリウムおよびカリウム,実践臨床化学,123,1982
	1062.0132	カリウムK(血清、尿)	同上
	1064.0133	クロールCl(血清、尿)	北村 元仕,他:銀電極による電量滴定法,実践臨床化学,136,1982
	1063.0134	カルシウムCa(血清、尿)	北村 元仕,他:0-CPC比色法,実践臨床化学,148,1982
	5392	イオン化カルシウム(Ca <sup>2+</sup> )	桑 克彦:検査と技術 19:119-124,1991
	1066.0110	マグネシウム Mg(血清、尿)	北村 元仕,他:キシリジルブルー比色法,実践臨床化学,167,1982
無機質(関連)	1065.0181	無機リン(P)	金井 泉,他:臨床検査法提要,757,金原出版,1964
	1067	鉄(Fe)	北村 元仕,他:臨床化学分析,V91,東京化学同人,1967
	2265	TIBC(総鉄結合能) RA法	吉川 文雄,他:医学と薬学 37(6):1443-1456,1997
	1069	TIBC(総鉄結合能)	松原 高賢:鉄と血色素,南光堂,1963
	2264	UIBC(不飽和鉄結合能) RA法	吉川 文雄,他:医学と薬学 37(6):1443-1456,1997
	1068	UIBC(不飽和鉄結合能)	金井 泉,他:臨床検査法提要(第29版)490,金原出版,1983
	1071	血清銅Cu	柴田 進,北村 元仕:現代診断検査法大系,日常臨床生化学定量法,159,中山書店,1964
	1072	炭酸リチウム(血清)	北村 元仕,他:実践臨床化学 692,1982
	2505	鉛(血液)	松本 武志,他:臨床病理 26:611,1978
	2506	鉛(尿)	原田 章,他:鉛健康診断のすすめ方 56,1990(全衛連)
	1044	アルミニウム	LeGendre,G.R:Clin.Chem.,22,53,1976.ParkinsonI.S.:Clin.Chem.acta.,125,125,1982
	177	亜鉛	村中日出夫,他:臨床病理 17:559-562,1969
	2507	カドミウム	Lagesson V et al: Clinical Chemistry 25(11):1948-1953,1979
	2502	水銀	神奈川県公害センター監修:「公害関係の分析法と解説」P54,(財)神奈川県公済会,1972
	2511	総クロム	田中 俊行,他:医学と生物学 101,277,1980
	2509	マンガン	Tsalev DL et al: Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17(6):660-666,1977
	その他	1073.1074	浸透圧(血清、尿、その他)
2562		エタノール(血液、尿)	馬嶋 正隆 他:北里医学 14:424-430,1984
5374		トリクロールエタノール	池田 正之:労働衛生,II,45,1970

	項目コード	項目名	参考文献名
その他	5242	馬尿酸(尿)	Gossler,K.,et al:Clin.Chem.Acta.,78,91,1977
	5243	メチル馬尿酸(尿)	同上
	2247	メチルマロン酸(尿)	Gutteridge,J.M.C.and Wright,E.B.:Clin.Chem.Acta.,27,289,1970
	2272	ニコチン	宮沢 滋:ビタミン 56(9・10):487-499,1982
	1056	血中アンモニア	金井 泉,他:臨床検査法提要(第29版) 436-438,金原出版,1983
	2467.4767	三塩化酢酸	城山 康,他:松仁会医学誌 25(2):225-231,1986
	4765.4766	総三塩化物	城山 康,他:松仁会医学誌 25(2):225-231,1986
	183	PFDF	Yamato,C,et al:Anal.Biochem 98:13,1979
ビタミン	2592	$\beta$ -カロチン	加美山 茂利,他:カロチンの測定法 31:269,1987
	5252	ビタミンA	藤井 五一郎:ビタミン 56:97,1982
	2267	ビタミンB1	宮川 秀則 他:生物試料分析 36(4):327-330,2013
	2268	ビタミンB2	大石 誠子:ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法 (化学同人) 71-80,1989
	2269	ビタミンB6(ピリドキサルリン酸)	Method Enzymol.,18,509,1970
	2270	ビタミンB12 VB12	刈米 重夫,他:RAIDIOISOTOPES 24:479,1975
	2271	葉酸	125I FolateRadioassay Kit・キット説明書(バクスタートラベル社)
	5255	ビタミンC(アスコルビン酸)	Esteve.M.J,et al:J.Chromatogr.B 688:345,1997
	2181	1,25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD3	Fraser WD et al:Ann Clin Biochem 34:632-637,1997
	5256	ビタミンE(トコフェロール)	藤井 五一郎:ビタミン,54,449,1980
腫瘍関連	2259	$\alpha$ -フェトプロテイン AFP	片山 勝利:現代の診療 24:12,12,1982
	2258	CEA	大川 二郎,他:Progress in Medicine 4:7,1984
	2489	NCC-ST439	吉岡 久:臨床病理 35:1233-1238,1987
	2483	PIVKA-II	高津 和子,他:臨床と研究 73:224-232,1996
	2487	BFP	設楽 光弘 他:臨床病理 36(9):1039-1044,1988
	1256	STn抗原	井村 裕夫,他:癌と化学療法,16(9):3213-3219,1989
	2486	Span-1抗原	福田 容子,他:核医学 27:405-413,1990
	2488	CA72-4	青山 昭 他:医学と薬学 49(1):127-135,2003
	2278	$\beta$ 2マイクログロブリン	小林 悦子:金沢医大誌,6,71,1981
	2279	尿中 $\beta$ 2マイクログロブリン	同上
	2402	CA19-9	佐々木 勝一,他:臨床検査機器・試薬,8(5),1462,1985
	2403	CA125	竹中 清悟,他:CA125EIA測定法の基礎的および臨床的検討
	2256	TPA(組織ポリペプチド抗原)	吉川 文雄,他:医学と薬学,34(4),749-759,1995
	5462	SCC	高木 康 他:医学と薬学 52(3):413-421,2004
	2407	神経特異エノラーゼ NSE	堀田 多恵子 他:生物試料分析 34(5):345-353,2011
	1464	CA15-3	桜林 郁之介,他:臨床病理 32(5),53,1986
	2245	$\alpha$ 1-アシドグリコプロテイン	櫻林 郁之介 他:臨床病理 特53:71-81,1983
	138	前立腺性酸性フォスファターゼ (PAP)	樋口 義典,他:医学と薬学 6(2):395,1981
	1227	エストロゲン・レセプター	宮永 健,他:癌と化学療法 8(10):1558-1864,1981
	2215.1226	プロゲステロン・レセプター	Horwits,K.B.,et al:SPECIFIC PROGESTERONE RECEPTOR IN HUMAN BREAST CANCER,Stemids,497-505,1975
	2260	$\gamma$ -セミノプロテイン $\gamma$ -Sm	西松 寛明,他:医学と薬学 40:345-350,1998
	1093	エラスターゼ1	大出 勝也,他:肝と脾 23(6):477-480,2002
	2462	プロコラーゲンⅢペプチド	上野 隆登 他:医学と薬学 24(3):675-678,1990
	2460	SLX(シアリルLeX.i抗原)	井村 裕夫 他:癌と化学療法 14(5):1315-1321,1987
	2451	DU-PAN-2	桜林 郁之介,他:臨床病理 34(6):705-710,1986
	2266	サイトケラチン19フラグメント(シフラ)	平川 寛一郎,他:臨床検査機器・試薬 21(3):289-293,1998
血液型関連検査	317	ABO型	日本臨床衛生検査技師会輸血検査標準法.
	314	Rh式(D)血液型	河瀬 正清:輸血検査のマニュアル
	315	Rh-Hr式血液型	日本血液学全書10.血液型と輸血
	318.0319	クームス試験(直接,間接)	河瀬 正晴:輸血検査のマニュアル
	322	クームス定量試験	同上
320	不規則性抗体	河瀬 正晴:輸血検査のマニュアル	

項目コード	項目名	参考文献名
5262	ブレアラブミン	Mancini,G.,et al:Immunochem.,2(3),235-254,1965
357	a1-アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特53:71-81,1983
1108	レチノール結合蛋白 RBP	古田島 伸雄 他:日本臨床検査自動化学会誌 32(1):84-88 2007
442	アンチプラスミン(a2-プラスミンインヒビター)	Friberger P et al:Haemostasis 7:138-145,1978
354	a1マイクログロブリン	伊藤 善久:medicina 36(増)11:196-197,1999
412	アンチトロンビンⅢ	Mancini,G.,et al:Immunochem 2(3):235-254,1965
5270	セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特53:71-81,1983
5525	C1-インアクチベーター	Dick W et al:Immun Infekt 13:113-118,1985
5274	a2マクログロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特53:71-81,1983
1092	ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特53:71-81,1983
427	プラスミノーゲン	Friberger P et al:Haemostasis 7:138-145,1978
5276	ヘモベキシン	生物物理化学,14,1,111,1969.
1089	C3( $\beta$ 1C/ $\beta$ 1Aグロブリン)	Mancini,G.,et al:Immunochem 2(3):235-254,1965
1090	C4( $\beta$ 1Eグロブリン)	Mancini,G.,et al:Immunochem 2(3):235-254,1965
5278	C5( $\beta$ 1Fグロブリン)	Mancini,G.,et al:Immunochem 2(3):235-254,1965
347	トランスフェリン	Mancini,G.,et al:Immunochem 2(3):235-254,1965
5217	心室筋ミオシン軽鎖I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52(3):443-449,2004
2278	$\beta$ 2-マイクログロブリン	小林 悦子:金沢医大誌,671,1981
156	心筋トロポニンT	米田 孝司 他:医学と薬学 26(3):505-518,1991
2100	ファディアトープ	奥田 勲 他:医学検査 46(10):1525-1530,1997
366	免疫グロブリン-E IgE[R1ST]	岩崎 栄作,他:小児科臨床 50(1):145-151,1997
	RAST	松村 典子,他:医学研査 40(9):1585-1590,1991
1085.1084	免疫グロブリン-IgG, A, M	三浦 秀人,他:臨床病理 31(8):802-808,1983
1087	免疫グロブリン-D	伊藤 忠一:臨床検査機器・試薬 9(1):1-5,1986
1091	血清補体価(CH50)	中藤 聡子,他:臨床検査機器・試薬 19(4):609-613,1996
2341.2342	ミオグロビン(血清,尿)	吉川 文雄 他:医学と薬学 37(5):1243-1253,1997
2343	ミエリンベースック蛋白MBP	Ohta M et al: Clinical Chemistry 46(9):1326-1330,2000
2280	フェリチン	浅川 英男,森 亘:Ferhtin,免疫学的検査,446-449,1985
157	クリオグロブリン	金井 正光:臨床検査法概要(第33版):729,2010
2345	パイログロブリン	金井 正光:臨床検査法概要(第33版):729,2010
348	免疫電気泳動IEP(抗ヒト全血清による)	大谷 英樹,河合 忠:免疫電気泳動法,医学書院
349	免疫電気泳動IEP(抗ヒト特異血清による)	同上
350	ペンス・ジョーンズ蛋白の同定(尿)	大谷 英樹,河合 忠:免疫電気泳動法,医学書院
342	抗核抗体ANA	Gale A.McCarty.et al:Antinuclear Anti bodies,OXFORD UNIV.PRESS,1984
2321	抗DNA抗体	鈴木 王洋,他:臨床免疫 25(8):1096-1102,1993
4971	抗Scl-70抗体	朝倉 奈津子,他:医学と薬学 62:747-757,2009
4969	抗SS-A抗体	朝倉 奈津子,他:医学と薬学 62:747-757,2009
4970	抗SS-B抗体	朝倉 奈津子,他:医学と薬学 62:747-757,2009
2347	抗ds-DNA抗体(IgG)	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26(6):747-753,2001
2346	抗ds-DNA抗体(IgM)	山下 雅樹 他:医学と薬学 58(5):763-767,2007
2348	抗SS-DNA抗体(IgG)	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26(6):747-753,2001
2349	抗SS-DNA抗体(IgM)	山下 雅樹 他:医学と薬学 58(5):763-767,2007
5527	抗セントロメア抗体	宮脇 昌二,他:医学と薬学 45(1):129-135,2001
2331	抗ミトコンドリア抗体(AMA)	岡野 哲郎,他:臨床病理 37:1367-1372,1989
2332	抗平滑筋抗体(ASMA)	西岡 幹夫,他:肝胆膵 11:591-597,1985
4967	抗Sm抗体	朝倉 奈津子,他:医学と薬学 62:747-757,2009
4968	抗RNP抗体	朝倉 奈津子,他:医学と薬学 62:747-757,2009
5193	抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66(5):823-828,2011
341	LEテスト	柴崎 成代,他:臨床検査機器・試薬 6(2):464-466,1983
2329	抗血小板抗体APA	柴田 洋一:輸血学(中外医学社) 457-470,1978
5289	抗皮膚抗体ASA	吉岡 順子:皮膚 23(1):29-54,1981
5291	抗アセチルコリンレセプター結合抗体	太田 光熙,他:日本臨床 42(春季臨増):1464,1984

血漿蛋白関連検査

免疫電気泳動

自己抗体

	項目コード	項目名	参考文献名
自己抗体	5295	抗TSHレセプター抗体	吉村 弘,他:医学と薬学 59(6):1111-1120, 2008
	5463	TSAb(甲状腺刺激性抗体)	長田 篤雄 他:ホルモンと臨床 41(10):1023-1030, 1993
	2257	オリゴクローナルIgGバンド	藤井 英治 他:生物物理化学 28(4):261-266, 1984
	2149	抗カルジオリビンβ2GPI抗体	野島 順三 他:医学と薬学 32(6):1315-1320, 1994
	2547	抗甲状腺ペルオキシターゼ抗体(抗TPO抗体)	森田 新二,他:医学と薬学 55(5):775-782, 2006
免疫血清学的検査	1075	抗ストレプトリジン0価 ASO	長田 富香:Med.Technol 8(4):293, 1980
	1059	C反応性蛋白 CRP	岸 久吉,他:臨床検査 3(3):22, 1959
	1088	RAテスト RA	笠原 和恵,他:衛生検査 25:1100, 1976
	1078	抗ストレプトキナーゼ価 ASK	土屋 彦治,他:臨床検査機器・試薬 7:417-422, 1984
	1358	トキソプラズマ抗体	亀井 喜世子,他:臨床病理 42(7):743-747, 1994
	1356	トキソプラズマ抗体-IgM	亀井 喜世子,他:臨床病理 42(7):743-747, 1994
	333	寒冷凝集反応	福岡 良男,他:臨床検査講座,血清学 290-292:医歯薬出版, 1979
	331	サイロイドテスト	安孫子 兵三郎,他:臨床検査機器・試薬 6(4):1011-1013, 1983
	332	マイクロゾームテスト	安孫子 兵三郎,他:臨床検査機器・試薬 6(4):1011-1013, 1983
	1080	RAPAテスト	木暮 範子,他:臨床検査機器・試薬 11(3):509-514, 1988
肝炎関連検査	2291	HBs抗原	関口 仁,他:臨床検査機器・試薬 22(4):283-288, 1999
	2292	HBs抗体価	関口 仁,他:臨床検査機器・試薬 22(4):283-288, 1999
	2293	Hbe抗原	熊谷 保之:日本臨床検査自動化学会誌J J C L A 25(1):70-74, 2000
	2294	Hbe抗体価	熊谷 保之:日本臨床検査自動化学会誌J J C L A 25(1):70-74, 2000
	2295	HBc抗体価	飯田 健一,他:Progress in Medicine 22(4):1037-1046, 2002
	5171	HBc-IgM抗体価	中尾 瑠美子,他:医学と薬学 52:847-858, 2004
	4950	HA抗体価	矢野 公士,他:医学と薬学 58:151-161, 2007
	4951	HA-IgM抗体価	矢野 公士,他:医学と薬学 58:151-161, 2007
	1082	HBs抗原	富士レビオ,SERODIA-HBs臨床データ集No.1, No.2
	1083	HBs抗体価	富士レビオ,SERODIA-antiHBs臨床データ集
	2296	HBc抗体価	吉原 なみ子:検査と技術 5(5):356, 1977
	2538	HBV-DNA定量	鷲見 麻由美,他:医学と薬学 39(3):625-636, 1998
	1430	HCV抗体価	黒田 雅顕,他:医学と薬学 43(5):985-991, 2000
	4623	HCV抗原コア蛋白質	熊田 博光:消化器科 45(4):454-466, 2007
	4842	HCV核酸定量	狩野 吉康,他:医学と薬学 58:137-149, 2007
	5230	HCV特異抗体群別判定	田中 栄司,他:医学と薬学 58:151-157, 2007
	2150	肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他:臨床検査 35(13):1360-1364, 1991
	梅毒反応	307	TPHA法定性定量
1423		FTF-ABS定性定量	山屋 駿一:微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版 H83-H91, 1995
5297		IgM-FTA-ABS法定性定量	厚生省監修:微生物検査必携 免疫血清反応検査(第2版):196, 1978
2523		RPR法定性定量	福岡 良男:新訂臨床検査講座23 臨床免疫学 (医歯薬出版) 361-364, 1997
感染症関連検査	4973	百日咳菌抗体価	岡田 賢司:医学と薬学 65:531-536, 2011
	1254	カンジダ抗原	相原 守夫,他:臨床検査 34(3):367-370, 1990
	5298	クリプトコッカスネオフォルマン抗原	篠田 孝子:日本医真菌学雑誌 30:211-221,1989
	5299	アスペルギルス抗体	高橋 孝治:道衛研所報 23:17,1973
	1448,1449	赤痢アムエーバ抗体	高田 季久,他:臨床と微生物 14:415-422, 1987
	1351	エルシニア抗体	金沢 裕:臨床病理 25(3),226-238,1977
	1359	クラミジアトラコマティス抗体価(グロブリン別)	梶原 祥子,他:医学と薬学 37:711, 1997
	4934	クラミジアトラコマティス核酸検出	熊本 悦明,他:医学と薬学 66(6):1007, 2011
	334	肺炎マイコプラズマ抗体 (PA)	巴山 顕次:検査と技術 16:738-740, 1988
	335	肺炎マイコプラズマ抗体 (CF)	富山 哲雄:Med.Technol 8:569-574, 1980
	3026	オーム病クラミジア	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル (文光堂) 880-886, 1988
	2244	単純ヘルペス特異抗原	川名 尚,他:感染症学雑誌 61:1030-1037,1987
	1326	エンドキシン定量	土谷 正和,他:日本細菌学雑誌 45(6):903-911, 1990
	4975	マイコプラズマ核酸検出(咽頭ぬぐい液)	山口 恵三,他:医学と薬学 58(4):565-571, 2007

	項目コード	項目名	参考文献名	
細胞機能		モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカー検査	Ip SH et al: Clinical Chemistry 28 (9) :1905-1909, 1982	
		Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査	高瀬 浩造: 臨床免疫 17 (10) : 914-925, 1985	
		リンパ球幼若化検査	笠原 忠, 他: 臨床検査 23 (7) : 660-667, 1979	
ウイルス抗体検査	5471	HTLV-1(ATLA抗体)	有馬 直道, 他: 医学と薬学 65 :651-655, 2011	
	2530	HIV抗体価	栗村 敬, 川谷 俊夫: 臨床検査, 30, 125, 1986	
	1337	HIV抗体価(確認試験)	菱田 靖, 他: 医学と薬学 27 :959-970, 1992	
		ウイルス抗体価(CF)	井上 栄: ウイルス・リケッチア検査 (第3版) 第1分冊, 31, 1987	
		ウイルス抗体価(HI)	同上	
	1221	麻疹ウイルス	斎藤 郁子, 他: 医学と薬学 27 :1241-1246, 1992	
	1222	麻疹ウイルス	斎藤 郁子, 他: 医学と薬学 27 :1241-1246, 1992	
	1224	ムンプスウイルス IgG	中山 哲夫: 医学と薬学 42 :303-306, 1999	
	1225	ムンプスウイルス IgM	内田 立志, 他: 川崎医学会誌 35 :139-145, 2009	
	3040	RSウイルス	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論2版(丸善) :260-274, 1973	
	3043.3044	単純ヘルペスウイルス1型・2型	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 (第3版) : 第1分冊 48-61, 1987	
	3045.3046	ポリオウイルス1型・2型・3型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論(2版:丸善) :260-274, 1973	
	3069	アデノウイルス	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論(2版:丸善) :260-274, 1973	
	1128	コクサッキーウイルス	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論(2版:丸善) :260-274, 1973	
	1428	エンテロウイルス	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論(2版:丸善) :260-274, 1973	
	3027	エコーウイルス	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論(2版:丸善) :260-274, 1973	
	3096.3097	単純ヘルペスウイルス IgG, IgM	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 (第3版) : 第1分冊 48-61, 1987	
	3093.3094	水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG, IgM	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 (第3版) : 第1分冊 48-61, 1987	
	3095.4071	サイトメガロウイルス IgG, IgM	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 (第3版) : 第1分冊 48-61, 1987	
	3098.3099	風疹 IgG, IgM	佐藤 俊則, 他: 臨床とウイルス 23 :44-47, 1995	
	3078.3079	EBウイルス	日沼 頼夫, 他: 臨床病理 特35:179-189, 1978	
	334	マイコプラズマ	川名 林治: ウイルス・リケッチア検査 2 :240-246, 1978	
	5341.5342	ウイルス分離, 同定	Hsiung GD : Diagnostic Virology An Illustrated Handbook 3-20, 1973	
	3039	ロタウイルス抗原	實方 剛: 臨床とウイルス 9 :79, 1981	
	血液学的検査	401	赤血球数 RBC	金井 正光: 臨床検査法提要 33版:189-191・201-206, 2010
		402	白血球数 WBC	金井 正光: 臨床検査法提要 33版:199-200・201-207, 2010
		403	血色素量 Hb	金井 正光: 臨床検査法提要 33版:191-193・201-207, 2010
		404	ヘマトクリットHt	金井 正光: 臨床検査法提要 33版:193-195・201-207, 2010
		407	血小板数PLT	金井 正光: 臨床検査法提要 33版:191-193・201-207, 2010
		408	網状赤血球数RET	金井 正光: 臨床検査法提要 33版:196-197・207-209, 2010
431		好酸球数EOS-C	金井 正光: 臨床検査法提要 33版:201-201, 2010	
428		赤血球抵抗試験	金井 正光: 臨床検査提要 33版:2010	
406		血液像	金井 正光: 臨床検査提要 33版:226-245, 2010	
423		骨髓像	金井 正光: 臨床検査提要 33版:245-261, 2010	
409		LE細胞	目野 志郎二臨床血液学, 783~785, 医学書院, 1974	
411		プロトロンビン時間PT	櫻川 信男: 臨床検査ガイド2001~2002:670-681, 2001	
415		トロンボテストTT	金井 正光: 臨床検査提要 33版:354-355, 2010	
414		活性化部分トロンボプラスチン時間APTT	金井 正光: 臨床検査提要 33版:349-350, 2010	
416		ヘパプラスチンテスト	坂井 正治: Sysmex Journal, 9 :2, 1986	
412		アンチトロンビンⅢ	説田 恭明, 大坪 盛夫, 他: 臨床検査 26 :605, 1982	
427		プラスミノゲン	Friberger P et al : Haemostasis 7 :138-145, 1978	
432		フィブリノゲン	金井 正光: 臨床検査提要 33版:358-360, 2010	
		ヘモグロビン (HbA1c)	平田 稔, 他: 医学と薬学 34 (1) :125-136, 1995	
184		ヘモグロビンF(胎性ヘモグロビン)Hb-F	平田 稔, 他: 医学と薬学 34 (1) :125-136, 1995	
5395		ヘモグロビン分画	平田 稔, 他: 医学と薬学 34 (1) :125-136, 1995	
1314	ペルオキシダーゼ染色	亀井 喜恵子: 染色法のすべて, Med.Technol. 5 (13) :1125-1128, 1977 PSA染色、糸賀 敬: 染色法のすべて, Med.Technol. 5 (13) :1132-1134, 1977		

項目コード	項目名	参考文献名
433	ALP染色	塚田 恒安: 染色法のすべて, Med.Technol. 5 (13) :1120-1122, 1977 鉄染色 金井 泉, 他: 臨床検査法提要 (第29版), 1318, 金原出版, 1983
1314	エステラーゼ染色	山本 きよみ, 他: 染色法のすべて, Med.Technol. 5 (13) :1122-1225, 1977
422	マラリア原虫	吉田 幸雄: 人体寄生虫学, p.238, 南山堂, 1982
5183	鼻汁好酸球	金井 正光: 臨床検査提要 2010
2361	血小板第4因子 PF4	高橋 芳右, 他: 血液と脈管 18 (4) : 326-335, 1987
5359	$\beta$ -トロンボグロブリン $\beta$ -TG	高橋 芳右, 他: 血液と脈管 18 (4) : 326-335, 1987
2354	第Ⅷ因子定量	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629-633, 1996
2357	第Ⅺ因子定量	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629-633, 1996
2351	第Ⅱ因子定量	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629-633, 1996
2352	第Ⅴ因子定量	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629-633, 1996
2353	第Ⅶ因子定量	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629-633, 1996
2356	第Ⅹ因子定量	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629-633, 1996
2356	第Ⅶ因子定量	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629-633, 1996
2354	第Ⅷ因子定量	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629-633, 1996
2358	凝固抑制因子検査, 第Ⅷ因子	金井 正光: 臨床検査法提要 33版: 376, 2010
5495	$\alpha$ 2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体 (PIC)	徐 吉夫, 他: 臨床検査機器・試薬 16 (6) : 1107-1113, 1993
5423	フォン・ウィルレブランド因子	高橋 幸博: 日本臨床 53 (増) : 100-104, 1995
5399	トロンピン・アンチトロンピン複合体	田中 朝志, 他: 医学と薬学 31 (1) : 203-208, 1994
1204	D-Dダイマー	新井 盛夫: 臨床病理, 34, 157, 1987
429	FDP (血清)	長野 美恵子, 他: 医療と検査機器・試薬 27 (1) : 23-29, 2004
430	FDP (尿)	藤巻 道男, 他: 血液凝固検査ハンドブック (第2版) : 329, 1992
4526	SFMC (可溶性フィブリンモノマー複合体)	緋荘 和子: 臨床検査 28: 7-13, 1984
456	プロテインC(抗原量)	筒井 聡明, 他: 検査と技術 12 (7) : 581-587, 1984
2551	フェノバルビタール	石橋 みどり, 他: 医学と薬学 42 (6) : 1061-1074, 1999
2552	プリミドン	石橋 みどり, 他: 医学と薬学 42 (6) : 1061-1074, 1999
2553	フェニトイン	石橋 みどり, 他: 医学と薬学 42 (6) : 1061-1074, 1999
2554	カルバマゼピン	石橋 みどり, 他: 医学と薬学 42 (6) : 1061-1074, 1999
2559	バルプロ酸ナトリウム	石橋 みどり, 他: 医学と薬学 42 (6) : 1061-1074, 1999
2555	エトサクシミド	石橋 みどり, 他: 医学と薬学 42 (6) : 1061-1074, 1999
1118	トリメタジオン	Sadee.W.et.al: ドラッグレベルモニタリング (廣川書店) : 100-109, 1982
2558	ニトラゼパム	Rolandl. Heazlewood. Et al: J. Chromatogr 336 : 229-233, 1984
5372	ジアゼパム	Berrg. D.J.et al J. Chromatogr., 150, 361, 1978
2557	クロナゼパム	Rolandl. Heazlewood. Et al: J. Chromatogr 336 : 229-233, 1984
5381	L-ドーパ	守 和子: 産業医学 17: 170-171, 1975
1425	アセタゾールアミド	Sadee W et al: ドラッグレベルモニタリング 90-91, 1982
2463	ハロペリドール	神定 守, 他: 臨床医薬 4(4): 639, 1988
2553	フェニトイン	Estas.A. and Dumont, P.A.: J. Chromatogr 27(1): 112-115, 1975
2554	カルバマゼピン	Adams, R.F. and Vandemark, F.L.: Clin. Chem 22(1): 25-31, 1976
2552	プリミドン	宮本 侃治: 臨床化学 6 (3) : 202-211, 1978
2572	ジゴキシシン	菅山 修二, 他: 生物試料分析 6(1): 31-43, 1983
2556	テオフィリン	Jolley.M.E., et al: Clin. Chem 27(9): 1575-1579, 1981.
2574	プロカインアミド	木村 英樹, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860-864, 2008
5386	プロプラノロール	Ahnoff M et al: Journal of Chromatography 340: 73-138, 1985
5388	リドカイン	宮本 侃治: 臨床化学 6 (3) : 202-211, 1978
5435	N-アセチルプロカインアミド	木村 英樹, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860-864, 2008
5451	ジソピラミド	TDMマニュアル: 164-176, 1989
2579	ゲンタマイシン	石橋 みどり, 他: 医学と薬学 42 (6) : 1061-1074, 1999
2578	トブラマイシン	木村 英樹, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860-864, 2008
2576	アミカシン	木村 英樹, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860-864, 2008
5482	バンコマイシン	木村 英樹, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860-864, 2008

血液学的検査

中枢神経薬

循環器薬

抗生物質



